



PANIGALE

日本語



ドゥカティスタの皆様

弊社に対するご信頼の元、新しい Panigale V2 をご購入いただいた皆様に心より感謝いたします。

Ducati にすばやく慣れ、**そのすべての機能をご利用**いただけるために、**本オーナーズマニュアルを注意深くお読みになる**ことをお勧めします。本マニュアルでは、**安全性**、車両の**お手入れ方法**、専門的なサービスによる**適切なメンテナンス**により車両の価値を高く保つ方法について、多くの役立つヒントと情報を提供しています。

また、**本オーナーズマニュアルはデジタル形式でもご利用いただけます。Ducati ウェブサイトの専用エリア**と、コンピュータと携帯電話の両方からお使いいただける **MyDucati アプリ**から、常に最新版をご参照いただけます。



このようにして、常に**最新版のマニュアル**をご利用いただけ、バイクと Ducati ワールドに関する**情報やよくある質問**もご覧いただくことができます。

本オーナーズマニュアルの内容に関する皆様のご意見・ご提案は、OwnerManual@ducati.com までご連絡ください。

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管してください。所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は本書内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に記載する参照図と異なる場合があります。

▲ 重要

Ducatiのウェブサイトでは、お客様のモーターサイクルの機能や特長に関する最新情報をお届けしております。ウェブサイトから、専用の「よくある質問 (FAQ)」とチュートリアルをご確認ください。本マニュアルに掲載されている情報は、印刷時点で最新のものです。Ducati モーターサイクルの品質基準および安全基準は日々更新されています。Ducati ウェブサイトから、モーターサイクルの最新版オーナーズマニュアルに記載されている機能や特徴をご確認ください。

本マニュアルの全部または一部を複製、配布することは禁じられています。すべての権利は Ducati モーターホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで(書面による) 許可の申請をしなければなりません。車両の修理に関するお問い合わせや、その他ので質問等につきましては、ドゥカティ正規アシスタンスセンターにで連絡ください。

で不明な点等でざいましたら、下記メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。contact_us@ducati.com 役に立つアドバイス等、弊社アドバイザーが対応いたします。

▲ 重要

詳細については、ウェブサイト www.ducati.com のサービスとメンテナンスセクションで「お問い合わせ」をクリックして、Ducati サポートまでお問い合わせください。 役に立つアドバイス等、弊社アドバイザーが対応いたします。 楽しいライディングを!

目次

主要構成部品/装備......23

ソフトウェアのアップデート ソフトウェアのアップデート	9 9
一般情報 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 本マニュアルで使用されている警告シンボル 田途	.10 .10
用途ライダーの義務	12
ライダーの教育	.14
服装	.14
 "安全のための""ベストプラクティス"""	.15
燃料の補給	.17
最大積載時の運転	18
車両への積載に関する注意	18
危険物 - 警告	19
車両識別番号	.21

車両上の配置	23
燃料フィラープラグ	
シートの取り外しおよび取り付け	25
バッテリー充電の維持	
サイドスタンド	30
Bluetooth コントロールユニット	31
ステアリングダンパー	33
フロントフォーク調整	34
リアショックアブソーバーの調整	36
運転時に必要なコマンド	38
コマンド類の配置	
スイッチ類	
ライトコントロール	
‡-	
イグニッションスイッチ / ステアリングロッ	ク48
PIN Code による車両の解除	

ギアチェンジペダル54	エンジンクーラント温度	81
ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整 55	ライディングモード (RIDING MODE)	82
	DWC 表示	84
APPLE - 1 A1	ABS 表示	89
運転の方法56	DTC 表示	94
慣らし運転の方法56	DQS 表示	
走行前の点検事項57	EBC 表示	102
エンジンの 始動 / 停止60	DDA 表示	
車両の発進63	機能メニュー	106
ブレーキ操作63	TOT	
ABS システム64	TRIP 1	108
車両の停止65	CONS. AVG 1	109
パーキング65	SPEED AVG 1	
燃料の補給66	TRIP TIME 1	
付属アクセサリー68	T AIR	112
	TRIP FUEL	113
	TRIP 2	
インストルメントパネル(ダッシュボ	エラー	
一ド)	PLAYER (OFF / ON)	
インストルメントパネル69	LAST CALLS	
パラメーターの設定および表示72	HEATING GRIPS	122
主な機能とサブ機能75	SETTING MENU	124
エンジン回転数表示77	SETTING MENU - Riding Mode	126
車両スピード78	SETTING MENU - Riding Mode - Engine	
ギア79	SETTING MENU - Riding Mode - DTC	
時計80	SETTING MENU - Riding Mode - ABS	
-API	SETTITE MENT MANING TO THE PROPERTY OF THE PRO	

SETTING MENU - Riding Mode - DWC130	主な整備作業とメンテナンス185
SETTING MENU - Riding Mode - EBC131	フェアリングの取り外し185
SETTING MENU - Riding Mode - DQS 132	クーラントレベルの点検および補充186
SETTING MENU - Riding Mode - Default 133	ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検 187
SETTING MENU - Riding Mode - All Default 134	ブレーキパッドの摩耗点検189
SETTING MENU - Pin Code 135	バッテリーの充電190
SETTING MENU - Lap 140	トランスミッションチェーン張力の点検
SETTING MENU - Backlight143	チェーンの潤滑196
SETTING MENU - Date and Clock144	ハイビーム/ロービーム電球の交換201
SETTING MENU - Units147	リアターンインジケーター201
SETTING MENU - Service 151	ヘッドライトの光軸調整202
SETTING MENU - Tire Calibration 152	リアビューミラーの調整204
SETTING MENU - DRL 155	チューブレスタイヤ205
テールランプの取り付け156	エンジンオイルレベルの点検207
SETTING MENU - DDA 161	車両の清掃209
SETTING MENU - Turn indicators 163	長期間の保管211
SETTING MENU - Info164	重要注意事項212
ラップタイム (LAP Time) 165	車両の運搬213
インフォテインメント169	
DRL モード表示174	
サイドスタンドのステータス表示175	メンテナンスプログラム214
メンテナンス表示 (SERVICE)176	メンテナンスプログラム:ディーラーでおこな
エラー表示179	うメンテナンス214
注意および警告180	メンテナンスプログラム:お客様がおこなうメ
	ンテナンス218

テクニカル仕様219	EU 適合宣言書236
重量 219 サイズ 220	
サイズ220	
補給221	
エンジン223	
タイミングシステム224	
性能データ225	
スパークプラグ225	
燃料供給	
ブレーキ225	
トランスミッション226	
フレーム227	
ホイール227	
タイヤ227	
サスペンション228	
エキゾーストシステム228	
カラーバリエーション	
エレクトリカルシステム230	
オープンソースソフトウェア235	
オープンソースソフトウェアに関する情報235	
カーファン・ハファーフェアで向する旧刊	
EU 適合宣言書236	

ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアのアップデート

一部の車両構成部品には、ソフトウェアによって管理されるもの、またはソフトウェアの使用が想定されているものがあります。このようなソフトウェアはアップデートの対象であり、アップデートを必要とする場合があります。

- 車両の安全性を保証するために必要なアップデートは Ducati から通知され、Ducati 正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。
- 車両の適合性を維持するために必要なアップデートの情報は Ducati ウェブサイトに公開され、車両購入日から 2 年間、または保証期間中(車両に有効な場合)、Ducati 正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。
- ソフトウェアの更なるアップデートや新バージョンについては、本オーナーズマニュアルに記載されている車両の定期点検プログラムに則った点検作業を実施する Ducati 正規サービスネットワークにてインストールが実施されます。

Ducati ウェブサイトのアップデートに関するセクションを定期的にご覧になり、My Ducati アプリをインス

トールして、利用可能なアップデートに関する情報を確認するようにしてください。

入警告

て、Ducati は一切の責任を負いません。

一般情報

取扱説明書内で使用される頭字語および略 語

<u>PH</u>	
ABS	アンチロックブレーキシステム
DDA	ドゥカティデータアナライザー
DQS	ドゥカティクイックシフト
DRL	デイタイムランニングライト
DTC	ドゥカティトラクションコントロー ル
DWC	ドゥカティウィリーコントロール
EBC	ドゥカティエンジンブレーキコント ロール
GPS	グローバルポジショニングシステム

本マニュアルで使用されている警告シンボ ル

お客様または他の人に負わせる可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

モーターサイクルの安全性に関するラベル

注意シンボル、および警告または重要シンボルの うちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ

▲ 警告

▼ これらの注意事項が守られない場合、ライダー や他の人に重大なけがや死亡事故を招くおそれがあり ます。

1 重要

■ 車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。

②参表

作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は、車両の進行方向に向かっての左右を意味します。

用途

本モーターサイクルはアスファルト舗装、または平らで整備された路面状態の道路においてのみ使用してください。未舗装道路やオフロードでは本モーターサイクルを使用することはできません。

人警告

オフロード走行に使用すると車両のコントロールを失い、車両の損傷、身体の傷害または死亡事故にいたるおそれがあります。

人警告

本モーターサイクルでのトレーラーのけん引やサイドカーの取り付けは行わないでください。車両のコントロールを失い、事故を招くおそれがあります。

M警告

▲ ライダー、荷物、オプションパーツを含む車両 総重量が 400 kg (881.85 lb) を超えないようにしてく ださい。

▲ 重要

■ ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

ライダーの義務

運転者は運転免許証を所持していなければなりません。

無免許運転は違法です。こうした行為は法律で 罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運 転免許証を携帯していることを必ず確認してくださ い。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運 転をさせないようにしてください。

アルコールまたは薬物の影響を受けている状態で運転しないでください。

★ 警告

▼■■ アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。こうした行為は法律で罰せられます。

医師から副作用についての説明を受けずに、運転前に 薬を服用しないでください。

A 警告

※によっては眠気やその他の症状を引き起こすことがあります。運転者が思うようにモーターサイクルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれがあります。

一部の国では保険への加入が義務付けられています。

入 警告

現地の法律をご確認ください。保険に加入し、 保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大切に保管してください。

運転者および同乗者の安全を守るため、一部の国では 基準適合ヘルメットの着用が法律で義務付けられてい ます。

入警告

型 現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。

入警告

事故が起こったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。

▲ 警告 へルメットが安全規格に適合していること、十 分な視野が取れていること、頭に合ったサイズである こと、ご使用になる国の基準適合マークが貼付されて ることを確認してください。道路交通法は各国で異な ります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律 を確認し、必ずそれに従ってください。

ライダーの教育

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。

人警告

■■ ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因になるおそれがあります。

服装

モーターサイクルを運転する際に着用する装備は安全 を確保する上で大変重要な役割を果たします。モータ ーサイクルは自動車のように乗員を衝撃から守ること はできません。

適切な装備とは、ヘルメット、目を保護するもの、グローブ、ブーツ、バックプロテクター、長袖ジャケット、ロングパンツからなります。

- ヘルメットは「ライダーの義務」に記載されている要件を満たしていなければなりません。シールドが付いていないモデルの場合は、適切なゴーグルを着用してください。
- グローブは革製もしくは摩擦に強い素材を用いた もので、5本指のもの、また指にはナックルプロ テクターと補強を備えた規格適合品を着用してく ださい。

- 運転する際のブーツやシューズは、アンチスリップソールとアンクルプロテクターを装備しているものを着用してください。
- バックプロテクターは、メーカーの仕様に応じて、ライダーの体格に合ったサイズの規格適合品を着用してください。
- ジャケットとパンツ、もしくはプロテクトスーツについては、革製のものか摩擦に強い素材を用いたもので、視認性を高めるカラーインサートが付いている規格適合品を着用してください。規格適合プロテクターを備えた製品を選ぶようにしてください。

人重要

■■ 車両の部品に巻き込まれるおそれがあるような、 ゆったりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてく ださい。

人 重要

全主 安全のために夏冬季節に関係なく適切な装備を 着用してください。

▲ 重要

▲ パッセンジャーも安全のため、適切な服を着用してください。

"安全のための""ベストプラクティス"""

モーターサイクルの使用前後および使用中には、人の 安全を確保し、モーターサイクルを最善の状態に維持 するために大切な、簡単にできる作業は必ず実行して ください。

人重要

▲ 慣らし運転期間中は、本冊子の "使用規定" の章 に記載されている指示に従ってください。

この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの 損傷や寿命の短縮については、Ducatiモーターホール ディング社はいかなる責任も負うものではありませ ん。

人警告

■ ≛ 基 連転する上で必要なコマンド類について十分な知識がない状態で運転を行わないでください。

エンジンを始動する前に、「エンジン始動前の点検」に記載されている点検を必ず実施してください。

人警告

本記 これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーに重大な傷害を招くおそれがあります。

入警告

エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジンを始動しないでください。

排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さら には死に至る危険性があります。

走行中は適切な姿勢を保ってください。

▲ 重要

▲ ライダーはハンドルから絶対に手を離さないでください。

人 重要

▲ 走行中、ライダーは必ず足をペダルに乗せてください。

人重要

▲ 私有地や駐車場からの出口、または高速道路の 入口などでの交差点では十分に注意してください。

人 重要

■ 相手から良く見えるように心がけ、前方車両の 死角に入って走行することは避けてください。

▲ 重要

■■ 右左折や走行車線を変更する際は、常に十分な 余裕を持ってターンインジケーターで意思表示を行っ てください。

▲ 重要

モーターサイクルはサイドスタンドを使用して、 他の邪魔にならないように駐車してください。路面の 悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。 モーターサイクルが転倒する危険があります。

▲ 重要

▼ タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

入警告

エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。エンジンとエキゾーストシステムが高温の間は、カバーシートが破損するおそれがありますので、バイクをカバーしないでください。

燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で 行います。

給油中は絶対に喫煙せず、火気を近付けないでください。

エンジンおよびエキゾーストパイプに燃料がかからないように注意してください。

給油の際は燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。

給油中は燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないように し、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

人警告

21 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10%以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10%以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

蒼 警告

燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに水と石鹸で洗ってください。

A 警告

▲ 燃料は非常に引火しやすいため、間違って衣服に付着した場合には着替えてください。

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。

車両の重量配分は、安全基準を維持するため、また悪 路走行や急な進路変更時のトラブルを避けるためにと ても重要です。

人警告

■ 最大許容重量を超えないようにしてください。 また以下に記載されている車両への積載に関する注意 事項をよくお読みください。

車両への積載に関する注意

▲ 重要

▲ 重要

■ 車両が不安定になりますので、ステアリングへ ッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむ ものを固定しないでください。

▲ 重要

■ バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。

1重要

■ 車両の可動部分の妨げになるおそれがあります ので、フレームのすき間に絶対に物を挟まないでくだ さい。

人警告

● タイヤの空気圧が適正であり、コンディションが良好であることを確認してください。

「タイヤ」の段落を参照してください。

危険物 - 警告

使用済みエンジンオイル

M警告

使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があります。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場合、作業後すぐに水と石鹸で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキシステムの清掃に圧縮空気を噴射したり、乾いたブラシは絶対に使用しないでください。

ブレーキフルード

入警告

車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された 部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する 原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、 毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな 布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手 の届かないところに保管してください。

▲ 警告

▼ ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

クーラント

エンジンクーラントに含まれるエチレングリコールは 特定の条件下において可燃性があり、その炎は肉眼で は見えません。エチレングリコールが発火した場合、 その炎が肉眼では見えないため重大な火傷につながる おそれがあります。

警告

▲ エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかからないようにしてください。

これらの部品はクーラントが発火するのに十分な熱を持っている場合があります。そのため、見えない炎で火傷を負うおそれがあります。クーラント (エチレングリコール) は皮膚刺激を起こすことがあります。また飲み込むと有害です。お子様の手の届かないところに保管してください。エンジンが熱いときは、ラジエーターキャップを外さないでください。クーラントは加圧された状態にあり、火傷を引き起こす原因となることがあります。

クーリングファンは自動的に起動しますので、手や衣 類を近づけないでください。

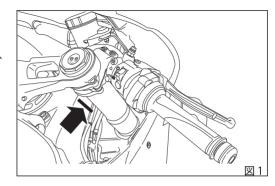
バッテリー

人 警告

■ バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

車両識別番号

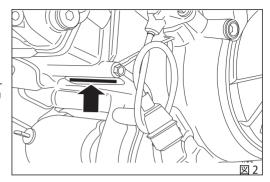
参考 これらの番号は車両モデルを識別するもので、 部品を注文する際にも必要です。



エンジン識別番号

参考 これらの番号は車両モデルを識別するもので、 部品を注文する際にも必要です。

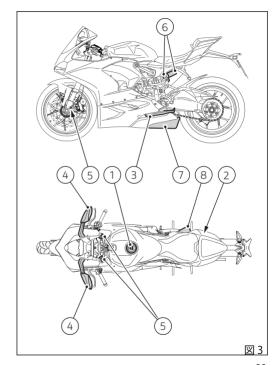
エンジン識別番号は車体フロント側、スターターモー ターとジェネレーターカバー付近のホリゾンタルシリ ンダー下側に記載されています。



主要構成部品/装備

車両上の配置

- 1) フィラープラグ
- 2) シートロック
- 3) サイドスタンド
- 4) リアビューミラー
- 5) フロントフォークアジャスター
- 6) リアショックアブソーバーアジャスター
- 7) 触媒コンバーター
- 8) エキゾーストサイレンサー



燃料フィラープラグ

開け方

- 保護カバー (1) を持ち上げ、キーをロックに挿入 します。
- キーを時計回りに 1/4 回転させ、ロックを解除します。
- フィラープラグ (2) を起こします。

閉じ方

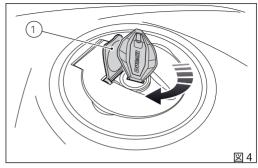
- キーを差し込んだ状態でプラグ (2) を閉じ、プラ グを押します。
- キーを抜き取り、保護カバー(1)を閉じます。

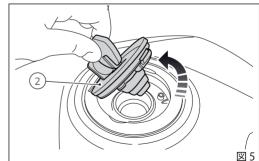
今参考

→ キーが挿入された状態でのみキャップを閉めることが可能です。

人 警告

燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じていることを確認してください。





シートの取り外しおよび取り付け

鍵穴(1)を操作してパッセンジャーシート(2)を取り外し、テールボックスを利用できます。 パッセンジャーシートの取り外し、

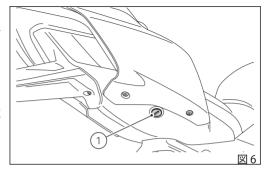
- 鍵穴(1)にキーを差し込みます。
- カチッと音が鳴りパッセンジャーシート (2) のロックが外れるまで、キーを左に回します。
- パッセンジャーシート(2)を車両の前方に抜き取ります。

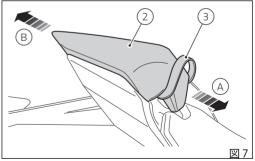
パッセンジャーシートの取り付け

- パッセンジャーシート(2)の取り付けを行う前に、パッセンジャーベルト(3)が正しい位置にあることを確認してください。
- パッセンジャーシート(2)を、車両前側(A)から カチッとロックの音が鳴るまで後方(B)にスライ ドさせてください。

警告

・ コシートカバーを閉じる際は、車両前側からシートカバーを挿入し、カチッとロックの音が鳴るまで後方にスライドさせてください。



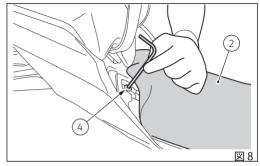


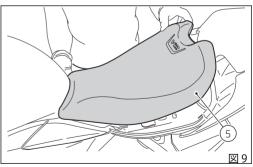
ライダーシートの取り外し

- テールボックスに付属の六角棒レンチを使用して、 ライダーシート(5)の両側にある2本のスクリュー (4)を緩めて外します。
- 車両の後方からシートを抜き取ります。

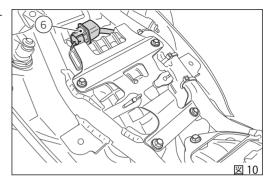
ライダーシートの取り付け

- ライダーシート(5)をまず車両の前方から挿入し、 次に後方に載せて取り付けます。
- シートの後端を持ち上げ、スクリュー (4) を締め 付けて固定します。
- ライダーシートの前部を持ち上げてみて、正しく 取り付けられていることを確認してください。





ライダーシートを取り外すと、バッテリーメンテナー接続用コネクター(6)の作業を行うことができます。



バッテリー充電の維持

車両には所定の充電器(2)(バッテリーメンテナーキット、部品番号:69924601A-多くの国、バッテリーメンテナーキット、部品番号:69924601AX-日本、中国、オーストラリアのみ)を接続することができるコネクター(1)が装備されています。充電器は当社の販売店でお求めいただけます。

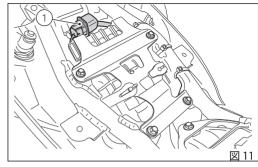
利用するには、"シートの取り外しおよび取り付け"の章を参照しながら、ライダーシートを取り外す必要があります。

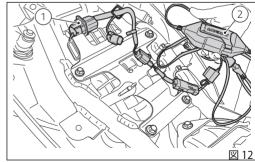
入警告

本車両のエレクトリカルシステムは、エンジン 停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。ただし、バッテリーは自然に放電しており、放電量は車両を使用していない期間や環境条件によって変化します。

▲ 重要

■ 所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、修理が不可能なバッテリーの 劣化を招くサルフェーション現象が生じます。





今参考

車両を長期間使用しない場合は (およそ 30 日以上)、ドゥカティ純正バッテリーメンテナー (バッテリーメンテナーキット 部品番号:69924601A (各国) またはバッテリーメンテナーキット 部品番号:69924601AX (日本、中国、オーストラリアのみ) をご使用いただくことをお勧めします。ドゥカティ純正バッテリーメンテナーは内蔵エレクトロニクスが電圧をモニターし、最大 1.5A/h の充電が可能です。メンテナーを車両後部に設けられた診断ソケットに接続します。

②参考

■ Ducati が認可していないバッテリーメンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリーが損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなし保証の対象にはなりません。

サイドスタンド

▲ 重要

● 短時間停車する場合に限り、サイドスタンドを使用して車両を支えます。サイドスタンドを使用する前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確かめてください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾斜面に停車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側にして駐車してください。

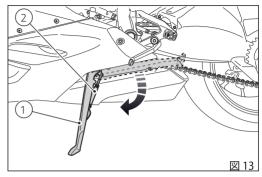
サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック (1)を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。

サイドスタンドを元の位置 (水平位置) に戻すには、 車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。

サイドスタンドのジョイント部の円滑な動作を維持するには、汚れをきれいに取り除いた後、摩擦が起きる部分すべてにグリース SHELL Alvania R3 を塗布します。

▲ 警告

■ サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないでください。



参考

₹参考

ロスタンドが上がり、ギアがニュートラルの位置 にある状態でエンジンを始動させることができます。

Bluetooth コントロールユニット

車両には Bluetooth コントロールユニットを装備する ことができます。これにより Bluetooth に対応する電 子機器間での通信が可能になります。

Bluetooth コントロールユニットは本車両に装備され おりません。Bluetooth コントロールユニットは、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターでお買 い求めいただけます。

人警告

Bluetooth スマートフォンおよびヘッドセットの 製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロト コルに変更を加えることがあります (スマートフォン、 ヘッドセット)。

警告

トゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット (音楽共有、マルチメディア再生など) の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン (Bluetooth 対応プロファイルによる) に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット (部品番号: 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していない スマートフォン ("Ducati キット 部品番号: 981029498" に付属するヘッドセットとペアリン グできる場合でも)

入警告

本動外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こった場合には、Ducatiキット(部品番号:981029498)ではライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメットへの再生音楽の共有機能を使用することができます(詳しくは Ducatiキット(部品番号:981029498)に付属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

Ducati キット (部品番号: 981029498) は、

Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお 求めいただけます。

スマートフォン本体が以下のプロフィールをサポートしていることを確認します。

- MAP プロフィール: SMS および MMS 受信通知を 正しく表示する。
- PBAP プロフィール:スマートフォンの電話帳データを正しく表示する。

■警告

以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット

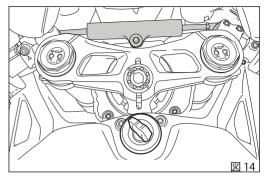
の参考

上記Ducati キットは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

ステアリングダンパー

ハンドルバーの前にあり、ステアリングヘッドに固定されています。

このダンパーがステアリングのより正確で安定した操作に貢献し、あらゆるコンディションでの操縦性をアップします。



フロントフォーク調整

車両のフォークは、リバウンドダンピング(リターン)、 コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。

調整はアジャスターを使用して行います。

- 1) リバウンドダンピングの調整(1)
- 2) コンプレッションダンピングの調整(2)
- 3) スプリングプリロード調整(3)

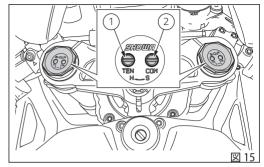
車両をサイドスタンドで支え、安定した場所に駐車します。

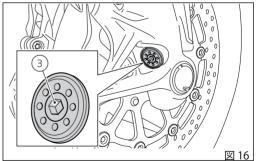
リバウンドダンピングを調整するには、各フォークレッグの先端にあるアジャスター (1) をマイナスドライバーで回します。

マイナスドライバーでそれぞれのフォークレッグの先端にあるアジャスター (2) を回転させ、コンプレッションダンピングを調整します。

アジャスタースクリューをいっぱいに締め込むと "0" 位置(すべて閉じた位置)になり、ダンピングが最強にセットされます。

各レッグのスプリングプリロードを調整するには、六角形のアジャスター(3)をすべて開いた位置から六角レンチで回します(反時計回り)。





標準設定:

- リバウンド:両側のレッグで、すべて閉じた位置 から反時計回りに 5.5 回転開く
- コンプレッション:両側のレッグで、すべて閉じた位置から反時計回りに7回転開く
- スプリングプリロード:すべて開いた位置から7回転。

サーキット走行時の推奨設定:

- リバウンド:両側のレッグで、すべて閉じた位置 から反時計回りに 2.5 回転開く
- コンプレッション:両側のレッグで、すべて閉じた位置から反時計回りに1回転開きます
- スプリングプリロード:すべて開いた位置から6回転。

▲ 警告 アジャスターは両方のレッグで同じ位置に調整 してください。

リアショックアブソーバーの調整

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランス を調整できるようアジャスターを装備しています。 クランクケースにフロントショックアブソーバーを固定している位置にあるアジャスター (1) は、リバウンドダンピング (リターン) を調整します。

ショックアブソーバーのリザーバータンクにあるアジャスター (2) は、コンプレッションダンピングを調整します。

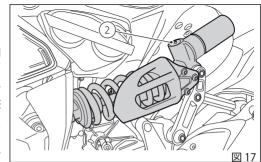
リングナット (3) はショックアブソーバーのスプリン グプリロードを調整します。

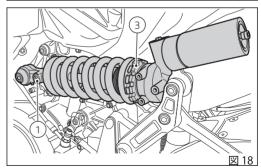
スプリングプリロードを変更するには、上部固定リングナットを緩めます。下部リングナットを締める、または緩めることでプリロードの強弱を調整します。 希望のプリロードに調整したら、上部固定リングナットを締め付けます。

アジャスター (1)、(2) を時計回りに最後まで回すと、完全に閉じた状態になります。

標準設定:

- リバウンド(1):すべて閉じた位置から反時計回り に13クリック開く
- コンプレッション (2): すべて閉じた位置から反時計回りに 2.5 回転開く
- スプリングプリロード:スプリングを完全に緩めた状態から 14 mm (0.55 in)





サーキット走行時の推奨設定:

- リバウンド(1):すべて閉じた位置から反時計回り に8クリック開く
- コンプレッション(2):すべて閉じた位置から反 時計回りに2回転開く
- スプリングプリロード:スプリングを完全に緩め た状態から 14 mm (0.55 in)

▲ 警告
ショックアブソーバーには高圧のガスが充填さ れています。未経験者による分解作業は重大な損傷の 原因となる恐れがあります。

パッセンジャーと荷物を載せる場合は、リアショック アブソーバーのスプリングプリロードを最大に調整し てください。これによりハンドリングを向上させ、車 両が地面に接触するのを防ぎます。この場合、リバウ ンドダンピングの再調整が必要になることがありま す。

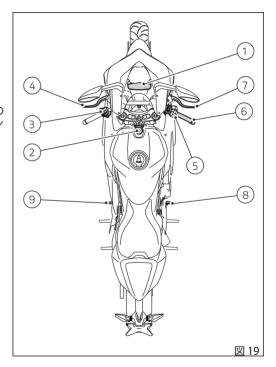
販売されている車両の調整(前の章に記載されている 標準調整)は、ストリートでの競技使用において最高 のパフォーマンスを得られるよう、すべての使用条件 (ライディング条件、ユーザーの能力およびニーズ)を 考慮した調整に相当します。

運転時に必要なコマンド

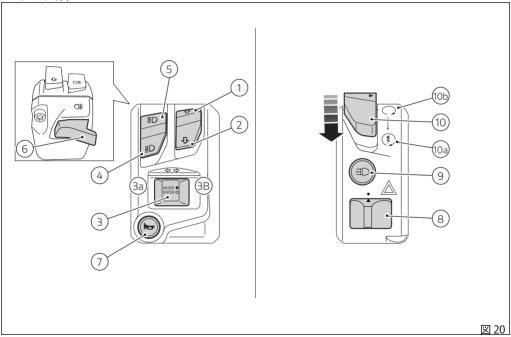
コマンド類の配置

▲ 警告 この章では車両を運転する上で必要なすべての コマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマン ドを使用する前によくお読みください。

- 1) インストルメントパネル
- 2) イグニッションスイッチ / ステアリングロック
- 3) 左側スイッチ
- 4) クラッチレバー
- 5) 右側スイッチ
- 6) スロットルグリップ
- 7) フロントブレーキレバー
- 8) リアブレーキペダル
- 9) ギアチェンジペダル



スイッチ類



39

1	仓	コントロールボタン UP
2	4	コントロールボタン DOWN
3	MODE ● ENTER ○ ⇔⇔	ライディングモード、ENTER機能、およびターンインジケーター (3 ポジション) を変更するボタン ■ ポジション (3a)、左ターンインジケーター ■ 中央、OFF ■ ポジション (3b)、右ターンインジケーター
4	≣ D	ロービームライト
5	≣D	ハイビームライト
6	≣D	フラッシュライトと「ラップ Start/Stop」機能
7	d	警告ホーン
8		ハザードランプ (赤色)
9	:: :: D	DRL (装備している場合)
10		スイッチ、2 ポジション (赤色)
10a	(\$)	エンジンの始動、下に押す
10b	×	エンジンの停止

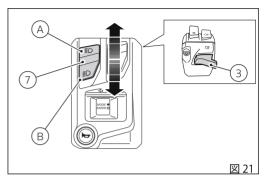
ライトコントロール

ロービーム/ハイビームライト

インストルメントパネル時、ロービームライトとハイビームライトは消灯したまま、パーキングライトのみが点灯します。

エンジンの始動後、ロービームライトが自動的に点灯します。ボタン (7) のポジション (B) とポジション (A) を切り替えて、ロービームライトとハイビームライトを切り替えることができます。ボタン (3) を押すとライトをフラッシュします。インストルメントパネルを起動してからエンジンをかけない場合でも、各ライトやフラッシュライトを作動させることはできます。ただし、ロービーム / ハイビームライトを手動で起動してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ライトは消灯します。

車両のバッテリー充電状態を維持するため、ハイビームライト、ロービームライトが点灯している場合にはエンジン始動時にヘッドライトは自動的に消灯します。エンジンが始動した時点で再び点灯します。



DRLの "Auto" モードー DRL 搭載バージョンのみ

SETTING MENU 内の "DRL" 機能から DRL を "Auto" に 設定している場合は ("SETTING MENU - DRL" の章を参 照)、インストルメントパネルが、検出された外光の明 るさに基づいて、DRL とロービームライトの関係を次 のように自動管理します。

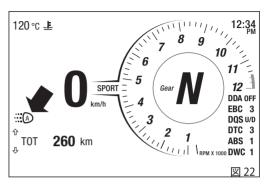
- 十分な外光が検出されると(昼間)、DRLを点灯してロービームライトを消灯します。
- 十分な外光が検出できない場合(夜間)は、ロービームライトを点灯して DRL を消灯します。

DRLが AUTO モードに設定されている時は、図に示す表示灯が点灯します。

DRL を "Auto" モードに設定している時にボタン (9、図 20) を押すと、自動管理が解除されて通常のライト管理に戻ります。もう一度ボタン (9、図 20) を押すと、DRLが "Manual" 管理モードで再び起動します。この場合は、次回のインストルメントパネル起動時に、DRL が再び "Auto" モードに設定されます。

人 警告

♪ 外光の弱い状況下、特に霧や曇りの時に DRL を "Auto" モードで使用すると、非常に危険な場合があります。このような場合には、ロービームライトを手動で点灯するようにしてください。



DRL の「Manual」モードー DRL 搭載バージョンのみ

SETTING MENU内 "DRL" 機能から DRL をこのモードに 設定している時は、インストルメントパネル起動時に DRL のステータスは変更されません。 DRL を停止または点灯するにはボタン (9、図 20) を押 してください。

▲ 警告

外光の特に弱い状況下 (暗闇) で DRL を使用すると、運転中の視界を損なう危険があるだけでなく、対向車のドライバーにとって眩しく不快に感じさせることがあります。

参考

日中に DRL を使用することで、ロービームライトよりも優れた視界を確保することができます

ターンインジケーター

インストルメントパネルは、SFTTING MENU 内の "Turn indicators" 機能の設定に基づいて、ターンイン ジケーターを手動モードまたは白動モードで制御しま す ("SETTING MENU - Turn indicators" の章をご覧くだ さい。ターンインジケーターを作動させるにはボタン (3、図 20) を押します。

手動解除:いずれかのターンインジケーターを起動し た後、ボタン(3、図20)で解除することができます。 自動解除: 車両速度、リーンアングル、車両の動的制 御の分析から右左折の動作の終了を感知して、ターン インジケーターが自動的に消灯します。

ターンインジケーターの作動中、ターンインジケータ ーを作動させようとしてターンインジケーターボタン を再び押すと、自動解除機能は再度初期化されます。

▲ 自動解除システムは、ライダーがターンインジケ ーターをより快適に操作できるように助ける、ライダ 一支援システムです。こうしたシステムは、ほとんど の運転において動作するように開発されていますが、 ライダー自身がターンインジケーターの動作に注意を 払わなくてよくなる機能ではありません(必要に応じ て手動で作動/停止)。

ハザード機能(ターンインジケーターすべて点 滅)

ハザード機能は、非常事態を知らせるために4つのタ ーンインジケーターすべてを同時に起動します。 ボタン (8、図 20) を押してこの機能を起動します。 ハザード機能の作動中は、4つのターンインジケータ 一およびインストルメントパネルの該当するランプが 同時に同期点滅します。

インストルメントパネルの起動時にハザード機能を作 動させると、インストルメントパネルをオフにしても ハザード機能は作動を続け、120分後に自動で停止し ます。

車両がオフの時にハザード機能を起動することはでき ません。

ルを起動しても、ハザード機能は作動を続けます。

《 参考

○ パーキング機能作動中に突然バッテリーからの 電源が遮断された場合、電源回復時にインストルメン トパネルは機能を停止します。

参考

「ハザード"機能は、ターンインジケーターの通 常機能より優先されます。そのため、"ハザード"機能 が作動している場合は左右インジケーターを個別に起 動することはできません。

パーキング機能

インストルメントパネルをオフにした時にボタン (3. 図 20) を たターンインジケーター 位置に 長押しする と、パーキングライドを点灯することができます。 インストルメントパネルをオフにしてから20秒以内 であれば、パーキングライトを点灯できます。

+-

車両には2個のキーが付属しています。 キーには"イモビライザーシステムの暗号"が含まれています。

キーは通常時に使用し、以下の操作に必要です。

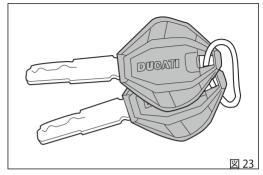
- 起動
- フィラープラグの開閉
- シートロックの解除

| | 警告

▲ キーは別々に保管し、車両を使用する際は2本のキーのどちらか一方を使用してください。

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、Ducati アシスタンスネットワークにで連絡ください。その際、お手持ちのすべてのキーをお持ちいただく必要があります。Ducati アシスタンスネットワークでは新しいキーとお手持ちのキーすべての登録を行います。Ducati アシスタンスネットワークではお客様に車両の所有者確認をさせていただく場合があります。登録作業中に提示されなかったキーの暗号はメモリーから削除されます。これは、紛失したキーでエンジンを始動できなくするためです。



〇参考

■ 車両の所有者を変更した場合は、必ず新規所有者にすべてのキーを譲渡してください。

イモビライザーシステム

盗難防止機能を高めるため、車両にはエンジンをブロックする電子システム(イモビライザー)が装備されており、インストルメントパネルを消す度に自動的に起動します。

各キーには電子装置が内蔵されており、スイッチ内に 組み込まれた特殊アンテナが起動時に発する信号を変 調します。 変調された信号は起動毎に異なる"パスワード"で構成され、これによってコントロールユニットはキーを識別します。正常に識別された場合にのみエンジンを始動することができます。

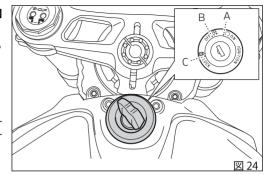
イグニッションスイッチ / ステアリングロ ック

燃料タンクの前にあり、3つのポジションがあります。

A) ON: エンジンおよびランプを ON にする B) OFF: エンジンおよびランプを OFF にする

C) LOCK: ステアリングロック状態

◇考 キーを最後のポジションに合わせるには、キー を押してから回してください。(B)、(C)の位置でキー を引き抜くことができます。



PIN Code による車両の解除

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力ができるようになります。

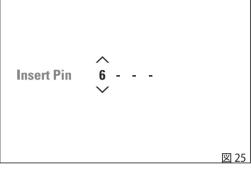
PIN CODE 機能が有効な場合は、インストルメントパネルに "Insert Pin" の文字と 4桁の PIN CODE 入力スペース"0" と "- - - " が表示されます。

コードの入力:

- UPボタン、DOWNボタンを押すと、数字が"0"~ "9"の間で1ずつ増減します。
- ENTERボタンを押して数字を決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。

4桁目を入力してから ENTER ボタンを押すと、以下のようになります。

- PIN CODE の検証中に問題が発生した場合は、インストルメントパネルに "Error" の文字が2 秒間表示され、その後スタンダードスクリーンに戻ります。
- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは "Wrong" を 2 秒間表示します。その後、前の画面に戻り、もう一度コードを入力することができます。



PIN CODE が正しい場合は、インストルメントパネルは "Correct" を 2 秒間表示し、その後画面はスタンダードスクリーンに戻ります。

▲ 重要

車両を起動するために上記のプロセスを踏まなければならない時は、早めに Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

クラッチレバー

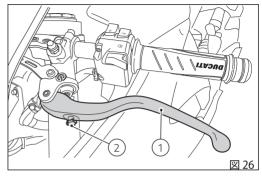
レバー(1)でクラッチの接続を操作します。レバーにはアジャスター(2)がついており、レバーとグリップとの間隔を調整することができます。レバーの間隔はアジャスター(2)の10クリックで調整できます。時計方向に回すとレバーはグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。レバー(1)を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。

| | 警告

◆ クラッチおよびブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

▲ 重要

■ クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、エンジンの寿命を延ばすことができます。

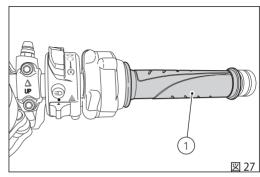


参考

→ サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動することができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた状態で行ってください(この場合は、ギアを入れる前にサイドスタンドを上げてください)。

スロットルグリップ

ハンドルバー右側のスロットルグリップ(1)は、スロットルボディのバルブ開閉を制御します。 グリップを離すと、自動的に元の位置(アイドリング 状態)に戻ります。



フロントブレーキレバー

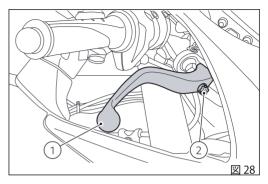
レバー(1)をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。

コントロールレバー (1) にはアジャスター (2) が付いており、レバーとグリップとの間隔が調整することができます。

レバーの間隔はアジャスター(2)の9クリックで調整できます。

時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。

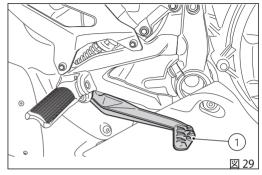
アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。



リアブレーキペダル

リアブレーキをかけるには、ペダル (1) を足で下に押してください。

制御システムは油圧式です。

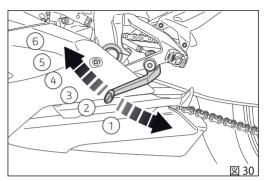


ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダルは一速ギアと二速ギア間にある中央のニュートラルポジションNに自動的に戻ります。ニュートラルポジションであることはインストルメントパネルのランプNで表示されます。ペダルは次のように動かせます。

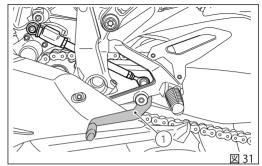
- 下へ=シフトダウンおよび1速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルのランプNが消えます。
- 上へ=ペダルを上へ上げることで、2速から順次 3速、4速、5速、6速へとチェンジします。

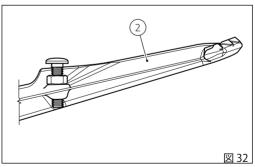
一回の操作が一速分のチェンジに相当します。



ギアチェンジペダルとリアブレーキペダル の調整

ギアチェンジペダル (1) とリアブレーキペダル (2) のポジションは、ライダーのライディングスタイルとフットペグの位置に合わせて調整することができます。ギアチェンジペダルの位置とリアブレーキペダルの調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。





運転の方法

慣らし運転の方法

エンジン最高許容回転数

慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン 最高許容回転数:

- 1) 1,000 km (621 mi) まで
- 2) 1,000 km (621 mi) \sim 2,500 km (1,553 mi)

1,000 km (621 mi) まで

最初の 1,000 km (621.37 mi) まではタコメーターに注 意し、5,500~6,000 回転 (rpm) を超えてはいけませ ん。

最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジン負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧めします。 エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な 慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。

最初の 100 km (62 mi) は、ブレーキディスクにパッドをよく慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキングや長いブレーキングは避けてください。すべての機械部分を互いに馴染ませるため、またエンジンの主要部分の寿命に悪影響を及ぼさないために、

急な加速や、特に上り坂での長時間にわたるエンジン 高回転は避けてください。

定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑してください。

▲ 重要

走行距離が最初の1000 km (621 mi) までの間 (慣らし運転期間)、すなわちオドメーターが1000 km (621 mi) 以下の値を表示している期間は、6000 rpm に達するとディスプレイにはオレンジ色で表示される予告ゾーン (オレンジゾーン) が棒グラフの目盛りとそれに相当する数字で表示されます。 慣らし運転期間中はエンジン回転数を6000 rpm 以下に維持すること、すなわちインストルメントパネルに棒グラフの"オレンジゾーン" が表示されないようにすることが推奨されます。

走行前の点検事項

人警告

走行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーやパッセンジャーを危険に晒すおそれ ◆ があります。

走行前に以下の点検を実施してください。

- タンク内の燃料量
 タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください(「燃料の補給」を参照)。
- エンジンオイル量 点検窓からオイルパン内のレベルを点検します。 必要であれば補充してください(「エンジンオイル レベルの点検」を参照)。
- ブレーキおよびクラッチフルード量 各フルードタンクのフルードレベルを点検してく ださい (「ブレーキ/クラッチフルードレベルの点 検」を参照)。
- クーラント量 リザーバータンク内のクーラントレベルを点検し ます。必要であれば補充してください(「クーラントレベルの点検および補充」を参照)。
- タイヤコンディション タイヤ空気圧と摩耗度を点検します(「チューブレスタイヤ」を参照)。

- コマンド機能
 - ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギア チェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を 確認します。
- ランプ類、インジケーター ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換してください ("ヘッドライト電球の交換"をご覧ください)。
- ロック類 フィラープラグのロックを点検します(「燃料フィラープラグ」を参照)。
- サイドスタンド サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置 にあるかを確認します(「サイドスタンド」を参 照)。

▲ 警告

型 異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

エンジンウォーターポンプが正常に作動するためには ベントを必要とします。そのため、クランクケース上 部のベント穴から微量の冷却液が漏れることがありま すが、冷却システムやエンジン自体の正常な動作に影響を及ぼすことはありません。

ABS ランプ

Key-ON 後も ABS ランプは点灯し続けます。 走行速度が 5 km/h (3 mph) を越えた時点でランプが 消灯し、ABS システムが正常に作動していることを示 します。

警告

異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

ABS 装置

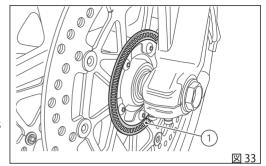
フロントフォニックホイール (1) とリアフォニックホイール (2) が汚れていないことを確認します。

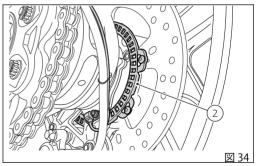
小警告

季素がある。 それなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。

A 警告

ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停止してしまうおそれがあります。





エンジンの始動/停止

入警告

エンジンを始動する前に、運転に必要なコマンド類の取り扱いに十分慣れておいてください。

入警告

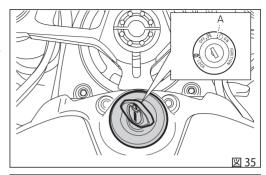
■ 屋内では絶対にエンジンをかけないでください。 排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

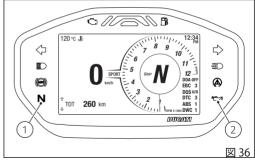
エンジンの始動

キーを位置 (A) ○ に回します。 インストルメントパネルの緑色ランプ N (1) と赤色ランプ(2) ☆ケ が点灯していることを確認してください。

/ 重要

▲ オイル圧警告ランプはエンジンを始動してから 数秒後に消えなければなりません。





入警告

サイドスタンドが完全に上げられて(水平)いない場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動することはできません。

○ ^{参考}

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください(この時サイドスタンドは上がっていなければなりません)。

非常用始動 / 停止スイッチ (3) が位置 (B) 〇 にあることを確認してください。

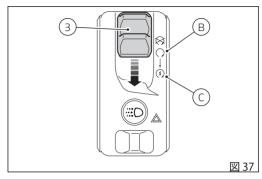
スイッチ (3) を下 (C) の に押して放します。 スロットルコントロールを操作せず、車両が自然に起動するまで待ちます。

の参考

■ バッテリーが上がっている場合、システムは自動的にスターターモーターの起動を停止します。

▲ 重要

■±3 エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。

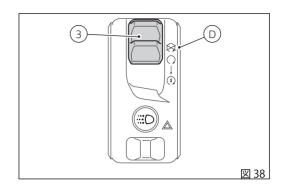


警告

● 停車して長時間エンジンをかけたままにしていると、冷却が十分に行えないためにオーバーヒートによる損傷につながるおそれがあります。停車した状態で、不必要にエンジンをかけ続けないでください。エンジンの始動後は、速やかに発進してください。

エンジンの停止

スイッチ(3)を上の位置(D) ⊗ に動かします。



車両の発進

- サイドスタンドを水平位置まで上げます。
- 2) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
- 3) ギアチェンジペダルをつま先でしっかりと押し下 げてギアを1速に入れます。
- 4) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を 上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと車 両は発准し始めます。
- 5) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数 を トげます。
- 6) シフトアップするには、スロットルを戻してエン ジン回転を落とします。クラッチを切り、ギアチ Tンジペダルを トげ、クラッチをつなぎます。シ フトダウンは次のように行います。スロットルグ リップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギ アを同調させやすくするためにエンジンを軽くふ かしてシフトダウンし、 クラッチレバーを放しま す。

これらの操作は適切に素早く行ってください。トり坂 を走行する際には、車速が落ちてきたら直ちにシフト ダウンし、 車両への異常なストレスやエンジンのノッ キングを避けてください。

急な加速操作は、オーバーフローやトランスミ ッション機構のスナッチングを招くおそれがあります ので避けてください。走行中にクラッチレバーを引い た状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩耗を引き 起こすおそれがありますので避けてください。

↑ 音古 ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停 止してしまうおそれがあります。

エンジンがアイドリング中でスロットルグリップが完 全に戻っている時に、ECUはリアバンクの2本のシリ ンダーを停止します。この停止は、特にエンジン温 度、ギア位置、クラッチレバー(ギアがニュートラル 以外に入っている場合はクラッチを切っている必要が ある) の状態に応じ、一定の条件を満たした場合にの み実行されます。このストラテジーはライダーのサー マルコンフォートと燃費の点で有利に働きます。

ブレーキ操作

時間に余裕を持って減速し、シフトダウンしてエンジ ンブレーキを使用し、両方のブレーキを操作してブレ ーキをかけます。車両が停止する前にクラッチを握 り、エンジンが急に切れないようにします。

ABS システム

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイールがロックしそうになると、ホイールのセンサーからコントロールユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内の油圧を制御します。

一時的に油圧が下がることで、タイヤは理想的なグリップを維持したまま回転を続けることができます。コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を再び上げてブレーキを作動させます。ホイールロックのリスクが完全になくなるまでこのサイクルを繰り返します。ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。

フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABSもフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。

車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピー ドを落とし始めます。シフトダウンしながら1速まで 落とし、最後にニュートラルに入れます。

ブレーキをかけると、東両を完全に停止することがで きます。

エンジンを停止するには、キーを OFF 位置に回しま す。"イグニッションスイッチとステアリングロック" をご覧ください。

パーキング

停止車両をサイドスタンドですえて駐車します。盗難 防止のため、ハンドルを左に振りきり、キーをLOCK 位置に回します。 車両をガレージやその他の建物内に駐車する際には、 換気が充分され、車両の近くに熱源が無いことを確認 してください。

監視できない場所に停車するときは、キーを付 けたままにしないでください。

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高 温の場合があります。身体が触れないよう十分注意 し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車し ないようにしてください。

↑ 〒 ロ エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパ イプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が 触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの 可燃物のそばに駐車しないようにしてください。 エンジンとエキゾーストシステムが高温の間は、カバ ーシートが破損するおそれがありますので、バイクを カバーしないでください。

| 発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック(ディス クロック、リアスプロケットロック等) は大変危険で す。車両の機能だけでなく、ライダーの安全をも損な うおそれがあります。

燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料 レベルはフィラープラグが収まる給油口より低くなければなりません。

警告

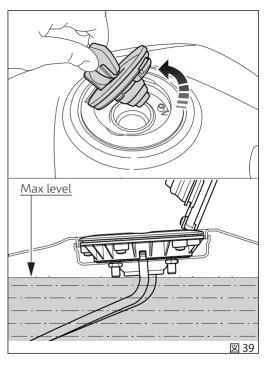
極端な場合には、キャップを開ける時にタンク内の圧力によって燃料が噴き出る可能性があります。 キャップを開ける時は十分注意して、ゆっくりと開けるようにしてください。

キャップを開けている時にシューという音が聞こえたら、音が聞こえなくなるのを待ってからキャップを完全に開けてください。

このノイズは燃料タンク内の圧力が外に逃げている時に鳴る音です。音がしなくなったということは、残っていた圧力が完全に外へ逃げたことを意味します。 上記のような状況は、特に暑い気候の時に起こりやすくなります。

警告

▲ オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。



▲ 警告 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。 エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用するこ とは禁じられています。こうした燃料を使用するとエ ンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあり ます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用 した場合は保証の対象外になります。

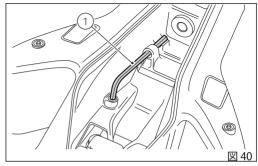
付属アクセサリー

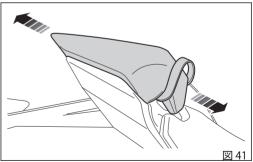
パッセンジャーシート下に設けられている小物入れスペースには、付属の L 型六角棒レンチ (1) 4 mm (0.16 in) が収納されています。

シート下のスペースを利用するには、"シートの取り外しおよび取り付け"の章を参照しながら、パッセンジャーシートを取り外す必要があります。

以下の付属部品の取り付けは、必ず Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。 - パッセンジャーシート

- 左右リアフットペグ





インストルメントパネル (ダッシュボード)

インストルメントパネル

- 1) ディスプレイ
- 2) ニュートラルランプ N (緑)
- 3) 一般的エラー警告灯 △ (オレンジ色)
- 4) ハイビーム表示灯 む (青)
- 5) リザーブ燃料警告灯 凰 (琥珀色)
- 6) ターンインジケーター表示灯 ⇔ (緑)
- 7) エンジンオイル圧警告灯 (本)

エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、 エンジンが破損するおそれがありますので車両を使用 しないでください。

- 8) DTC/DWC ステータスランプ (琥珀色)
- ランプ OFF: DTC/DWC 機能作動中
- ランプ ON 点滅: DTC/DWC は起動しているが、 性能が制限されている

- ランプON:コントロールユニット不具合のため、 DTC/DWC は解除されているか作動していない
- 9) "エンジン診断 MIL" ランプ 🖒 (琥珀色)
- エンジンマネジメントエラーが発生すると警告灯 が点灯します。急な加速や追い越し運転は避け、 Ducati 正規サービスセンターまでゆっくりと走行 し、故障の修理をご依頼ください。
- 警告灯が点滅するときは、排出ガスに重大なエラーが発生しているため、触媒コンバーターを損傷するおそれがあることを通知しています。可能であれば Ducati 正規サービスセンターまで車両の運搬を依頼し、サービスセンターに故障の修理をご依頼ください。いずれの場合も、急な加速や追い越し運転は避けてゆっくりと走行してください。
- 10) ABS ランプ (®) (琥珀色)
- ランプ OFF: ABS 機能作動中
- ランプ ON 点滅:ABS は自己診断中あるいは起動 しているが、性能が制限されている
- ランプON: ABS コントロールユニット不具合の ため、ABS が解除されているか作動していない
- 11) DTC/DWC 介入 (琥珀色)
- ランプ消灯:DTC 介入なし
- ランプ点灯: DTC 介入
- 12) サイドオーバーレブ(赤)

これらの警告灯は警告灯13の点灯と連動して点灯し、 リミッターが介入したことを通知します。

13) OVER REV / イモビライザー停止 (赤)

オーバーレブ:

- ランプ消灯:リミッターの介入なし
- ランプ点灯:リミッター介入

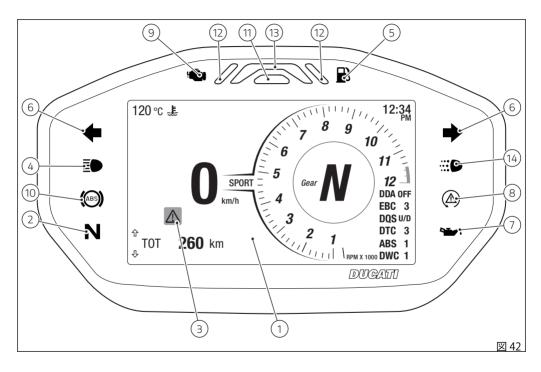
◇考 エンジンコントロールユニットの各キャリブレ ーションで起点値とリミッター値の設定が異なる場合 があります。

イモビライザー:

- ランプ消灯:車両 Key-ON 状態、または 12 時間 以上 Key-OFF 状態
- ランプ点滅:車両 Key-OFF 状態

14) DRL ランプ(緑) (中国、カナダバージョンには装備 されません)

⚠ ディスプレイに "TRANSPORT MODE" の文字が表 示されている場合は、直ちにドゥカティ正規ディーラ ーにご連絡ください。正規ディーラーにてこの項目を 削除し、バイクの完全な機能の保証を受けてくださ い。



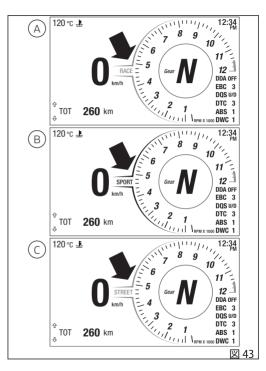
パラメーターの設定および表示

インストルメントパネルが起動すると、画面に DUCATI ロゴが表示され、各 LED ランプの点検が順番 に実行されます。点検が終了すると、インストルメントパネルには、KEY-OFF 前に使用していたモード (RACE、SPORT、STREET) のメイン画面が表示されます。点検中に車両速度が 5 km/h (3 mph) を超えると、インストルメントパネルは点検を中断し、メイン画面 を表示します。

3種類のメイン画面があり、それぞれの画面は対応する次のライディングモードに連動しています。RACE、SPORT、STREETです。

各画面は、ディスプレイ中央に表示されているライディングモード名と色、エンジン回転数グラフのフレームカラーが次のように異なります。

- ライディングモード RACE は赤色 (A)
- ライディングモードTSPORTのDAYモードはブラック、NIGHTモードはホワイト(B)
- ライディングモード STREET はグレー (C)

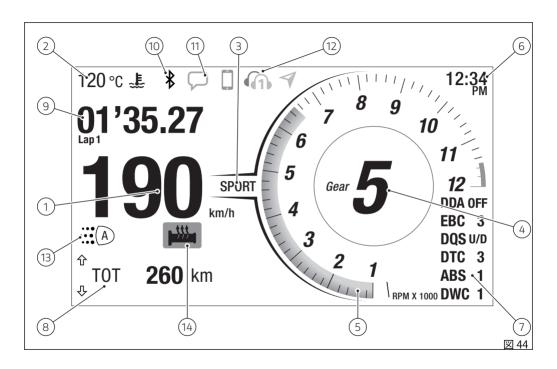


すべてのメイン画面には以下の情報が表示されます◆ 注意 / 警告表示 (Warning) (図 44)。

- 車両スピード 1)
- エンジンクーラント温度 2)
- 設定ライディングモード (Riding Mode)
- ギア表示
- 5) タコメーター
- 6) 時計
- 設定ライディングモードに連動する値のパラメ ーター表示
- 8) 機能メニュー
- ラップタイム (起動時のみ) または音楽プレーヤ - (起動時のみ)
- 10) Bluetooth 表示 (Bluetooth が搭載されており、 起動している時のみ)
- 不在着信、またはメッセージ受信表示 (Bluetooth が搭載されており、スマートフォン が接続されている場合のみ)
- 12) 接続デバイス表示(Bluetooth が搭載されており、 起動している時のみ)
- DRL ステータス (中国、カナダバージョンには DRL は装備されません)
- 14) ヒーテッドグリップ (装備している場合)

以下の機能が有効な時は、これらの詳細情報が表示さ れます。

- サイドスタンドの状態 (Side Stand)
- SERVICE 表示



主な機能とサブ機能

メイン画面に表示される機能: メイン機能:

- 車両スピード
- エンジン回転数表示
- エンジンクーラント温度
- 時計
- ギア表示
- 設定ライディングモード (Riding Mode)
- 設定ライディングモードのパラメーター: DWC、 ABS、DTC、DQS、EBC、DDA
- 機能メニュー
- TOT トリップメーター
- TRIP 1 トリップメーター 1
- CONS. AVG 1 平均燃費
- SPEED AVG 1 平均スピード
- TRIP TIME 1 トリップタイム
- TAIR 外気温
- TRIP FUEL 燃料リザーブトリップメーター
- TRIP 2 トリップメーター 2
- CONS. 瞬間燃費
- PLAYER (OFF / ON) 音楽プレーヤー操作 Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ

- LAST CALLS Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載されており、少なくとも 1 台のスマートフォンが接続されている場合のみ
- HEATING GRIPS ヒーテッドグリップ管理、搭載されている場合のみ(アクセサリー)
- SETTING MENU

サブ機能:

- ラップタイム LAP
- インフォテインメント (アクセサリー)
- サービスメンテナンス表示
- DRL ステータス表示 (アクセサリー)
- エラー
- 注意および警告
- サイドスタンドの状態表示

SETTING MENU のうち以下の機能はユーザーによる変更が可能です。

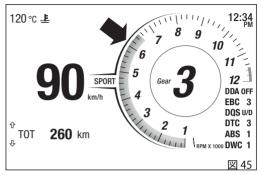
- Riding Mode ディングモード
- PIN CODE 登録および変更
- Lap ラップタイムの起動および管理
- ▶ Backlight バックライトの調節
- Date and Clock 日付と時計の設定
- Units 単位の設定
- Service 次回サービスの情報

- Tire Calibration タイヤと減速比のキャリブレーション
- DRL モード設定 (アクセサリー)
- Bluetooth Bluetooth デバイス管理 (アクセサリー)
- DDA データ管理
- Turn indicators インジケーターのモード設定
- Info 情報

エンジン回転数表示

エンジン回転数は軌跡が色付きのタコメーターで表示されます。DAY モードではグレー、NIGHT モードではホワイトで表示されます。

エンジン回転数表示の軌跡が琥珀色に変わると、シフトアップするタイミングであることを示します。リミッターが作動すると、ランプ(オーバーレブ12および13、図42)が点灯し、軌跡が赤色に点滅します。回転数が1,000 rpmを下回っている場合は、軌跡は表示されません。

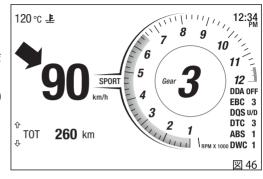


車両スピード

速度は 5% 増加した速度値と設定単位(km/h または mph) で表示されます。

以下の場合には3本の点線"---"と単位が表示されます。

- 走行速度 299 km/h (186 mph) 以上
- スピードセンサーに異常がある場合 ("- - " 点滅)



ギア

挿入ギア (1-6) はタコメーター中央に表示されます。 ニュートラルの時は"N"の文字が表示され、ニュート ラルランプ (ランプ 2、図 42) が点灯します。

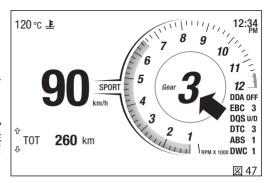
ギアセンサーエラーの場合は点線 "-" が表示され、ニュートラルランプが点滅します。

の参考

★線 "-" が点灯し、ニュートラルランプが消えている場合は、ギアが機械的に安定した位置にない可能性があります。その場合は、ギアが正しく表示されるまで、ギアを操作してください。

参考

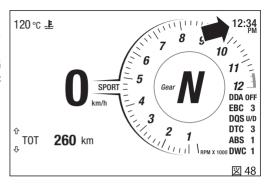
■ エンジン回転数表示の軌跡が琥珀色に変わると、
シフトアップするタイミングであることを示します。



時計

時刻は「HH:MM(時:分)」形式と、その後に"AM"または "PM" で表示されます。

電源供給が中断された場合 (Battery Off) は、次回の起動時に4本の点線"--:--"が点灯します。また、中央のコロンが点滅し、"AM"の文字が表示されます。 SETTING MENU から時計を設定してください。



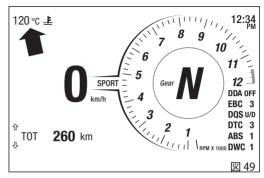
エンジンクーラント温度

温度は設定した単位(°Cまたは°F)で表示されます。 エンジン温度の表示範囲は40°C~+120°C (+104°F~+248°F)です。

データが以下の場合:

- -40°C(-40°F)以下の場合、3本の点線"---"が 点滅表示されます。
- -39°C(-38°F)~+39°C(+102°F)の場合、" LO"の文字が表示されます。
- +121°C(+250°F)以上の場合、"HI"の文字が点 滅表示されます。

クーラント温度センサーエラーの場合、設定単位と共に3本の点線"---"が点滅表示されます。



ライディングモード (RIDING MODE)

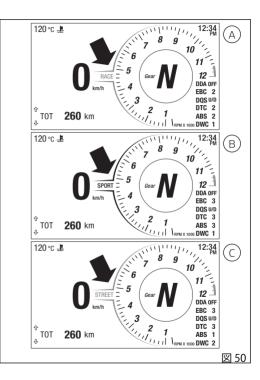
3 通りのライディングモードは、RACE、SPORT、STREET です。

設定されているライディングモード名が、ディスプレイ中央の速度とタコメーターの間に表示されます。 ライディングモード名とタコメーターは、それぞれのライディングモードの色で表示されます。

- RACE は赤色 (A)
- SPORT の DAY モードはブラック、NIGHT モード はホワイト (B)
- STREET はグレー (C)

各ライディングモードのパーソナライズ可能なパラメーターは、ENGINE、DTC、ABS、DWC、EBC、DQSです。

各ライディングモードのパラメーターは工場出荷時に 設定されいますが、SETTING MENUからパーソナライ ズすることができます。



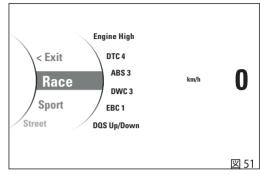
ライディングモードを変更するには、

- ENTER ボタンを 1 秒間長押しします。
 選択可能なライディングモードをスクロールできる画面が表示され、各パラメーターと設定値が表示されます。
- ブラウズボタンを使用して、希望のライディング モードを選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。

変更を行わずにライディングモードの変更を終了する には、"Exit" を選択して ENTER ボタンを押します。

新しいライディングモードが決定されると、インストルメントパネルは以下の検証を行います。

- 走行速度 5 Km/h (3 mph) 以下でスロットルグリップが開いている場合、"Close throttle" (スロットルを閉じてください) の文字が表示されます。スロットルグリップが閉じられたときにのみ、新しいライディングモードが保存され、メイン画面に戻ります。
- 走行速度 5 Km/h (3 mph) 以下でスロットルグリップは閉じているが、ブレーキがかけられている場合、"Release brakes" (ブレーキを放してください) の文字が表示されます。ブレーキが放されたときにのみ、新しいライディングモードが保存され、メイン画面に戻ります。



 上記の両方の状態にある場合は、"Close throttle and release brakes" (スロットルを閉じて、ブレー キを放してください) の文字が表示されます。両 方の条件が満たされたときにのみ、新しいライディングモードが保存され、メイン画面に戻ります。

上記のいずれかの条件が表示されてから5秒以内にライディングモード変更を有効にする条件が満たされなかった場合は、選択手順は中止されます。インストルメントパネルは設定を変更せずにメイン画面に戻ります。

DWC 表示

DWC の現在のレベルを表示します。 レベルはSETTING MENU内のライディングモード機能 からパーソナライズ可能です。

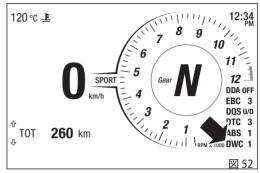
DWC が ON の時に機能制限モードである場合は点滅表示され、さらに DTC/DWC ステータスランプ (ランプ 8、図 42) が点灯します。 DWC エラーの場合は、"Err"の文字が赤色で表示され、さらに DTC/DWC ランプ(ランプ8、図 42) が点灯しま

す。(図 42)

■ DTC を "OFF" に設定した場合、DWC も自動的に "OFF" に設定されます。

A 警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにで連絡ください。



▲ 警告

DWC はライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許容されるスピードを超えたりするような運転に寄与するシステムではありません。

下記の表は、各ライディングタイプに適したDWC介入レベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DWC レベル	用途		DEFAULT
OFF		DWC システム解除	NO
1	HIGH PERFORMANCE	熟練ライダー向けストリートおよびサーキ ットでの使用。ウィリーは可能ですが、シ ステムはウィリーの速度を低減します。	NO
2	PERFORMANCE	熟練ライダー向けストリートおよびサーキットでの使用。システムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には介入を行います。	のデフォルトレベル
3	SPORTIVE	すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。	
4	SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムはウィリーが発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。	"STREET" のデフォルトレベ

レベルの選択に際しての注意事項

小警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終減速比および標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、DWCシステムの最適な動作が保証されるものです。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

DWCのレベル4を選択すると、システムはウィリーが発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。レベル4からレベル1の順にDWCシステムの介入レベルが小さくなります。レベル1、2ではウィリーをしやすくなっていますが、同時にウィリー時の減速を行います。これらのレベルの使用は、自らウィリーを制御することができる熟練ライダーがサーキットで使用する場合にのみ推奨されます。その場合システムはウィリーの発生を助けるというよりも、ウィリーが発生する速度を抑えることでライダーを補助します。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- ライダーの経験
- レイアウト/行程(低速ギアでの立ち上がり、もし うは高速ギアでの立ち上がり)

ライダーの経験

使用するレベルはウィリーを自ら制御するライダーの 経験度と密接に関連しています。レベル 1、2 を適切 に利用するためには熟練した技術が求められます。

レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に低速ギアで立ち上がる速度の低いカーブが存在する場合、より低いレベルを選択する必要があります。逆に高速サーキットなどではより高いレベルを選択することが可能です。

サーキットでの使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するため、最初の数周はレベル4に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを3、2と変えながら最適なDWCレベルに達するまで調整します(タイヤを温めるため、各レベルごとに数周します)。

一般道での使用時のアドバイス

DWCを起動した後、レベル4を選択し、好みのスタイルで運転します。DWCが介入しすぎると感じる場合は、レベルを3、2と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整してください。行程タイプが変化したため設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します(例:レベル2ではDWCが介入しすぎると感じる場合はレベル1に、レベル2ではDWCの介入が全くないと感じる場合はレベル3に変更します)。

ABS 表示

ABS の現在のレベルを表示します。

レベルはSETTING MENU内のライディングモード機能からパーソナライズ可能です。

ABS が自己診断中は、ABS ランプ (ランプ 10、図 42) が点滅します。

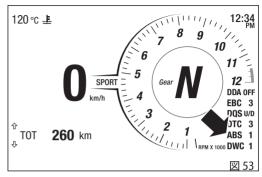
ABS が機能制限モードである場合は、現在のレベルが 点滅表示され、さらに ABS ランプ (ランプ 10、図 42) が点滅します。

ABS エラーの場合は、"Err" の文字が赤色で表示され、 さらに ABS ランプ (ランプ 10、図 42) が点灯します。 (図 42)

▲ 警告

◆ システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。



アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれかのホイールがロックしそうであることを検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。この場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させることでホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適に維持します。

続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油 圧を戻してブレーキをかけます。問題が完全に解消さ れるまで、このサイクルを繰り返します。ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの制御は別々に行われます。

Panigale V2 が搭載する ABS は、設定レベルに応じた 異なるストラテジーを適用して車輪がロックするのを 防止するセーフティシステムです。ストラテジーのア クティブプレゼンスと介入レベルは選択レベルに準じ ます。ABSには3通りの介入レベルが用意されており、 それぞれライディングモードと連動しています。

さらに、Panigale V2 が搭載する ABS は「コーナリング」機能を備えており、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。コーナリング機能は全 ABS レベルで作動します。 ABS 設定レベルに応じて、リアホイールのリフトアップ制御を有効にでき、制動距離を短くするだけでなく、制動時の高い安定性を確保します。

ABSのレベル1では、システムはフロントブレーキディスクにのみ作用し、サーキット走行においてさらに高いパフォーマンスを保証します。

ABSのレベル2では、システムがフロントとリアの両方に作用し、さらに「ブレーキング時のスライド制御」が作動します。一定の起動条件下で、ライダーの

安全を最大限に確保しながらも、ABSシステムは車両のヨーイングまたはスライドを可能にするリアの大幅なスリップを許可し、コーナーに高速で進入できるようにします。フロントブレーキを激しくかけている時に、リアブレーキも操作した場合にこのコントロールが作動します。このシステムの作動中、リーンアングルに応じて安全なレベル内に維持するため、ABSは車両のスリップまたはスライドレベルを監視します。車のスリップまたはスライドレベルが高くなりすぎると、ABSは通常機能に戻り車両を再調整して安全を確保します。

▲ 警告

2つあるブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキ性能が低下します。 2つあるブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキコマンドの片方だけを使用すると、車両のブレーキ性能は一部しか発揮されません。 急激に過度の力を掛けてブレーキコマンドを操作しないでください。後輪が浮き上がり(リフトアップ)、車両のコントロールを失うおそれがあります。 雨天時や滑りやすい路面の走行時はブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に 優しくブレーキ操作をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてください。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレーキパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著しい低下の原因となります。規定空気圧に満たないタイヤ、もしくは規定空気圧を超えるタイヤでの走行はブレーキ性能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの安定性を損ないます。

下記の表は、各ライディングタイプに適した ABS レベルと、ユーザーが選択可能な "ライディングモード" のどれにデフォルト設定されているかを示します。

レベル	スタイル	用途	DEFAULT
1		このレベルは上級ライダー向けサーキット走行専用に設定されています。 このモードでは、ABSはフロントホイールにのみ作用し、リアホイールのロックは許容されます。リフトアップ制御およびコーナリング機能は作動しません。	

	1		
2	SPORT	このレベルはグリップの良い路面での走行用に設計されています。このレベルでは、ABSは両方のホイールに作用します。コーナリング機能が作動しますが、リフトアップ制御機能は作動しません。このキャリブレーションにおいてはブレーキ力が優先され、同時に高い安定性を確保します。このレベルでは「ブレーキング時のスライド制御」も作動します。	RACE のデフォルト レベル
3	ALL/ URBAN/WET CONDITION	このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、安全かつ安定したブレーキングを可能にするよう設定されています。このレベルでは、ABS は両方のホイールに作用し、コーナリング機能およびリフトアップ制御機能が作動します。	SPORT、STREETの

レベルの選択に際しての注意事項

選択可能な全レベルにおいて、標準装備のブレーキシステムおよび標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、ABSシステムの最適な動作が保証されるものです。特に、標準装備タイヤは次のとおりです。フロント 120/70 ZR17 M/C (75W) - リア 180/60 ZR17 M/C (75W) TI Pirelli Diablo Rosso II。

標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使 用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の 安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと 異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。 レベル3を選択すると、ABSシステムは非常に安定し たブレーキングとリフトアップ制御を行い、コーナリ ング機能によりカーブ走行時を含むあらゆるブレーキ ングにおいて高い車体安定性を維持します。 レベル2を選択すると、ABSシステムはより制動力を 優先させ、同時に最適な安定性を確保します。レベル 2ではABSコーナリング機能が作動します。また、レ ベル2では「ブレーキング時のスライド制御」機能が 作動します(このレベルでのみ利用できます)。 ABS システムのレベル 1 は熟練ライダー向けに開発さ れています。このレベルでは制動力が最も重視され、 安定性とリフトアップ制御は損なわれます。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- タイヤ/路面のグリップ(タイヤタイプ、タイヤの 磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
- 2) ライダーの経験と感覚:熟練ライダーは制動距離を最小限に抑えるためリフトアップを制御することができますが、経験の少ないライダーには、急なブレーキングでも車体の安定性が維持できるようレベル3の使用が推奨されます。

DTC 表示

DTC の現在のレベルを表示します。 レベルはSETTING MENU内のライディングモード機能 からパーソナライズ可能です。

DTC が機能制限モードである場合は点滅表示され、 さらに DTC/DWC ランプ (ランプ 8、図 42) が点灯します。

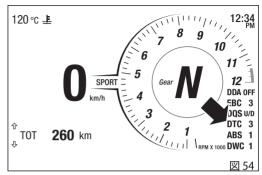
DTC エラーの場合は、"Err" の文字が赤色で表示され、 さらに DTC/DWC ランプ (ランプ 8、 図 42) が点灯し ます。

DTC を "OFF" に設定すると、DWC も自動的に "OFF" に設定され、DTC/DWC ランプ (ランプ 8、図 42) が点灯します。(図 42)

警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

ドゥカティトラクションコントロール (DTC) はリアホイールのスリップ制御を行い、8つのレベルを基に機能します。各レベルでリアホイールのスリップに対して異なる許容値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動します。一方熟練ライダー用サーキット走行向けのレベル1は許容



値が高く設定されており、システムの介入が最小限に抑えられます。

▲ 警告

DTCはライダーをアシストするシステムです。一般道走行時、サーキット走行時のどちらでも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。 下記の表は、各ライディングタイプに適したDTC介入レベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DTC レベル	ライディングタイプ	機能の特徴	DEFAULT
OFF		DTC システムは解除されています。	NO
1		このレベルは熟練した上級ライダー向けサーキット走行専用に設定されています。 このモードにおいて DTC はスリップを許容します。	
2	TRACK	このレベルは熟練した上級ライダー向けサーキット走行専用に設定されています。 このモードにおいて DTC はスリップを許容します。	
3	TRACK	このレベルは上級ライダー向けサーキット走 行用に設定されています。 このモードにおいて DTC はスリップを許容 します。	のデフォルトレベル
4	ROAD	このレベルは、ストリートおよびサーキット 走行用に設定されています。	ライディングモード 「SPORT」のデフォルトレベ ル
5	ROAD	このレベルは、ストリートおよびサーキット 走行用に設定されています。	

6	SAFE & STABLE	このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、グリップの良好なストリート走行用に設定されています。	
7	RAIN	このレベルは濡れた路面でレインタイヤを装着するサーキット走行専用に設定されています。	
8	HEAVY RAIN	このレベルは濡れたアスファルトや滑りやすい路面でのストリート走行用に設定されています。 このレベルが最善に機能するためには、 ENGINE LOW を使用してください。	

レベルの選択に際しての注意事項

人警告

選択可能な全レベルにおいて、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着し、標準装備の最終減速比を装備している場合においてのみ、DTCシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Rosso Corsall のサイズ:フロント 120/70ZR17、リア180/60ZR17 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低下することがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合(サーキット走行においてのみ可)、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

レベル8を選択すると、DTCはリアタイヤのわずかなスピンにも介入します。レベル8とレベル1の間には、

その他に6つのレベルが存在します。DTCの介入度は レベル8から1に向かい減少します。

特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能特性が異なることがあります。

正しいレベルの選択は、3つの観点から行います。

- グリップ(タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)
- 2) レイアウト/行程(同じような、または全く異なったスピードでのカーブ)
- 3) ライディングスタイル(より"スムーズ"に、また はより"シャープ"に)

グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ 状況と密接に関係しています(後述のサーキットおよび一般道での使用時のアドバイスを参照)。グリップが 弱い場合には、DTCが確実に介入するより高いレベル を使用する必要があります。

レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に同じスピードで走行できるカーブ がいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる 介入レベルを簡単に見つけることができるでしょう。 一方様々なカーブがレイアウト/行程にある場合は、 妥当な DTC 介入レベルが必要になります。

ライディングスタイルからのレベル選択

カーブ出口で早めに車体を起こし"シャープ"に操縦する場合よりも、バイクを深く倒して"スムーズ"に操縦する場合に DTC はより介入を行う傾向があります。

サーキットでの使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するために、タイヤを温める間の数周はレベル6に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを6、5、4と変えながら最適な DTC レベルに達するまで調整します。過度な介入が起こる1つか2つの緩いカーブを除けば納得のいくレベルである場合、直ぐに介入レベルの変更を考える前に、緩いカーブ出口で早めに車体を起こすようにし、少し「シャープ」なライディングスタイルで走行してみてください。

一般道での使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するために、レベル8に設定することをお勧めします。DTCが介入しすぎると感じる場合には、レベルを5、4と変えながら、最適なレベルに達するまで調整します。

グリップ状況や行程の種類、ライディングスタイルを変更した時に、設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します(例:レベル5ではDTCが介入しすぎると感じる場合はレベル4に、レベル5ではDTCの介入が全くないと感じる場合はレベル6に変更します)。

DQS 表示

DQS の現在のレベルを表示します。 レベルはSETTING MENU内のライディングモード機能 からパーソナライズ可能です。

DQS システムが性能制限モードにある場合は、点滅して通知されます。

DQSシステムが解除されている場合は、"Off"の文字が表示されます。

エラーの場合は、レベルの代わりに"Err"の文字が赤色で表示されます。

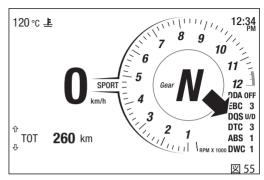
UP/DOWN 機能を備える DQS システムでは、クラッチを操作せずにシフトアップおよびシフトダウンが可能です。

ペダルの作動機構に内蔵された双方向マイクロスイッチからな成り、このマイクロスイッチがエンジンコントロールユニットにシフト操作に対応する信号を送信します。

システムは、ギアチェンジとシフトダウンで別々に作用します。

DQS 機能を最大限に活用するためのヒント:

ドゥカティクイックシフトでは、このシステムを 搭載ない車両と同様にギアチェンジペダルの操作 を必要とします。



ドゥカティクイックシフトはギアチェンジを自動で行うためのシステムではありません。

ギアをチェンジする時 (シフトアップまたはシフトダウン) は、ギアチェンジペダルを停止している位置からシフトしたい方向に動かしてください。その際、スプリングの反発力に抵抗してペダルを一定距離動かし、ギアが完全に締結されるまでその位置を維持してください。ギアチェンジが完了したら、ドゥカティクイックシフトで次のギアチェンジができるようにペダルを完全に放してください。ドゥカティクイックシフトのリクエスト時にギアチェンジペダルをストロークエンドま

で確実に動かさないと、ギアが完全に入らない場合があります。

- クラッチレバーを操作する場合には、ドゥカティ クイックシフトのアシストは作動しません。クラ ッチレバーを引いたとき、ドゥカティクイックシ フトは起動しません。
- スロットルが完全に閉じている場合にのみ、ドゥカティクイックシフトはシフトダウンを実行します。
- 万一ドゥカティクイックシフトのストラテジーが 作動しない場合でも、クラッチレバーを操作して ギアチェンジを完了することができます。
- ギアチェンジペダルを上下いずれかの方向に 131 粉以上押し続けると (誤って操作した場合でも)、 不正なエラーとしてコントロールユニットに記録され、ドゥカティクイックシフトの機能が停止することがあります。こうした場合にシステムを再起動するには、ペダルを放してインストルメントパネルを一旦切り、5 秒待ってからもう一度起動してください。
- ドゥカティクイックシフトは、エンジン回転数 2,500 rpm 以上で作動するように設計されています。
- ドゥカティクイックシフトを使ったシフトダウン機能は、すべてのギアにおいて定義された回転数の限界値以下でのみ作動します。これは、シフト

ダウンした時にエンジンの最高回転数を超えてしまうのを防ぐためです。

EBC 表示

EBC の現在のレベルを表示します。

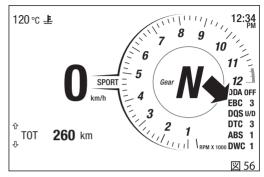
レベルはSETTING MENU内のライディングモード機能からパーソナライズ可能です。

エラーの場合は、レベルの代わりに"Err"の文字が赤色で表示されます。

エンジンブレーキコントロール (EBC) は走行中アクセルが完全に閉じた時に掛かるエンジンブレーキ制御を行います (ブレーキを掛けているかいないかに関わらず、シフトダウン時やギアは変えずにアクセルだけを戻した時)。このシステムは独立してスロットルバルブを調整し、走行中のホイールからエンジンへのバックトルクを一定に保ちます。

このエンジンブレーキ調整システムでは、エンジンブレーキが最大になるレベル1設定から、レベルを上げるごとにエンジンブレーキが徐々に軽減します。システムの影響はエンジンの高回転域で特に顕著で、回転数が下がっていくにつれ徐々に小さくなっていきます。

ライディングモードの EBC 介入表:



入警告

EBCはライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

EBC	特徴	DEFAULT
1	このレベルではエンジンブレーキは最大になります。	ライディングモード RACE、 SPORT、STREET のデフォルトレベ ル
2	このレベルではエンジンブレーキは小さくなります。 このレベルは、減速時のエンジンブレーキを小さくし たいライダーに適します。	
3	このレベルではエンジンブレーキは最小になります。. このレベルは、減速時のエンジンブレーキを最小限に 抑えたいライダーに適します。	

レベルの選択に際しての注意事項

選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終減速比を装備し、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、EBCシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Corsa II のサイズ:フロント 120/70 ZR17、リア 180/60 ZR17 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合(サーキット走行においてのみ可)、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

レベル3を選択すると、EBC はエンジンブレーキの機能を最小限に抑えます。レベル3からレベル1の順にエンジンブレーキレベルが大きくなります。レベル1でエンジンブレーキレベルは最大になります。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- グリップ(タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)
- 2) レイアウト/行程(類似カーブのみ、またはカーブ が全く異なる)
- 3) ライディングスタイル

グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ状況と密接に関係しています。

レイアウトタイプからのレベル選択

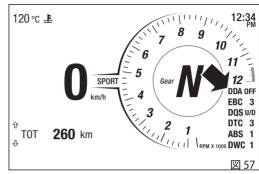
同じようなブレーキングで走行できるレイアウト/行程の場合(すべて非常に激しい、またはすべて非常に緩やか)、それぞれのブレーキングで満足できる干渉レベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方様々なブレーキングがレイアウト/行程にある場合、EBCシステムの妥当な介入レベルが必要になります。

DDA 表示

DDA の現在のステータスを表示します。 SETTING MENU 内の DDA 機能から、ステータスの変 更と記録データの管理が可能です。

○参考

■ DDA が車両に搭載されている場合にのみ、この表示を利用できます。

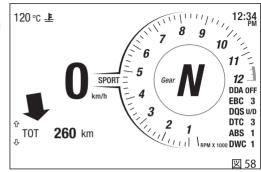


機能メニュー

ブラウズボタンを使用して、メイン画面にメニュー内 の機能をスクロール表示することができます。 選択可能な設定は、

- TOT オドメーター
- TRIP 1 トリップメーター 1
- CONS. AVG 1 平均燃費
- SPEED AVG 1 平均スピード
- TRIP TIME 1 トリップタイム
- TAIR 外気温
- TRIP FUEL 燃料リザーブトリップメーター
- TRIP 2 トリップメーター 2
- CONS. 瞬間燃費
- PLAYER (OFF / ON) 音楽プレーヤー操作 -Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載され ており、スマートフォンが接続されている場合の み
- LAST CALLS Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載されており、スマートフォンが接続されている場合のみ
- HEATING GRIPS ヒーテッドグリップ、搭載されている場合のみ (アクセサリー)
- SETTING MENU

各種機能がスクロール表示できる時は、メニューの左側にUP およびDOWN 矢印が現れます。矢印



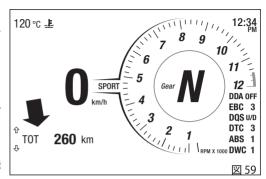
はブラウズボタンに相当します。丸印 O の表示は、 ENTER ボタンを押して表示された機能を操作できることを示します。例えばトリップメーターTRIP1のリセットです。

TOT

オドメーターは、設定されている単位(キロメートルまたはマイル)で車両の総走行距離を表示します。 オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でも リセットすることはできません。

★オドメーター機能で点線"-----"が点滅表示される場合は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにで連絡ください。

の参考



TRIP 1

TRIP 1 機能は、車両の部分走行距離を表示します。 データが最大値 9999.9 を超えると、カウンターは自 動的にリセットされ、再び 0.0 からカウントを始めま す。

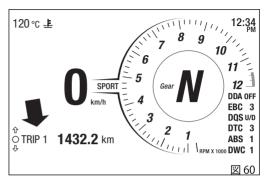
機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "TRIP 1" を表示します。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルか、ENTER ボタンを押して決定します。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- CONS. AVG 1機能をリセットした場合。
- SPEED AVG 1 機能をリセットした場合。
- TRIP TIME 1 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で 変更した場合。

▼ TRIP 1 機能をリセットすると、CONS. AVG 1、SPEED AVG 1、TRIP TIME 1 の各機能もリセットされます。



CONS. AVG 1

CONS. AVG 1機能は、最後に機能がリセットされてか ら計算された車両の平均燃費を表示します。 データは設定された単位(km/L、L/100km、mpg UK、 mpg US) で表示されます)。

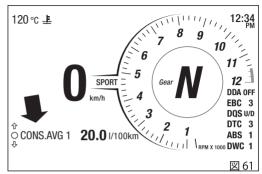
機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "CONS. AVG 1" を表示し ます。
- FNTFR ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットします か)の文字が表示されます。
- ENTER ボタンを押して決定するか、UP ボタンま たは DOWN ボタンを押してキャンセルします。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- TRIP 1機能をリセットした場合。
- SPEED AVG 1 機能をリセットした場合。
- TRIP TIME 1 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で 変更した場合。

CONS. AVG 1機能をリセットすると、TRIP 1、 SPEED AVG 1、TRIP TIME 1 の各機能もリセットされま す。



平均燃費は、停車中でもエンジンがかかってい る時間は計算されます。

SPEED AVG 1

SPEED AVG 1機能は、最後に機能がリセットされてから計算された車両の平均スピードを表示します。

機能のリセット:

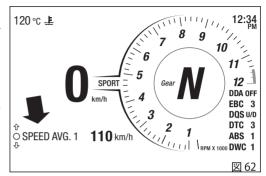
- ブラウズボタンを押して "SPEED AVG 1" を表示します。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- ENTER ボタンを押して決定するか、UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルします。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- TRIP 1 機能をリセットした場合。
- CONS. AVG 1 機能をリセットした場合。
- TRIP TIME 1 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で 変更した場合。

の参考

SPEED AVG 1 機能をリセットすると、TRIP 1、
CONS. AVG 1、TRIP TIME 1 の各機能もリセットされます。



一参考

TRIP TIME 1

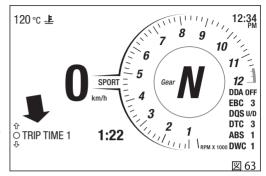
TRIP TIME 1機能は、最後に機能がリセットされてから計算された車両の走行時間 (時:分) を表示します。データが最大値 511:00 を超えると、カウンターは自動的にリセットされます。

機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "TRIP TIME 1" を表示します。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- ENTER ボタンを押して決定するか、UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルします。

以下のような場合には、TRIPTIME1のデータが自動的 にリセットされます。

- TRIP 1 機能をリセットした場合。
- CONS. AVG 1 機能をリセットした場合。
- SPEED AVG 1 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で変更した場合。



参考

TRIP TIME 1 機能をリセットすると、TRIP 1、CONS. AVG 1、SPEED AVG 1 の各機能もリセットされます。

一参考

挙 停車中でもエンジンがかかっている時間は、走 行時間として計算されます。

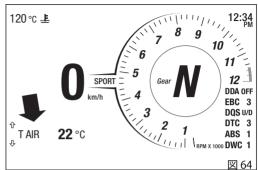
T AIR

TAIR 機能は外気温度 (°Cまたは°F) を表示します。 単位は SETTING MENU から変更できます。

温度データは -39° C~+124° C (-38° F~+255° F) の間で表示されます。 温度が -39° C (-38° F) 未満 あるいは +125° C (+255° F) を超える場合には点線"---"が表示されます。

一参考

エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響 を与える場合があります。



TRIP FUEL

TRIP FUEL 機能は、車両がリザーブ走行に入ると有効になり、燃料リザーブランプ点灯時点からの走行距離を表示します。

リザーブ走行状態でなくなると、この機能は停止します。

以下のような場合には、リザーブ走行距離データがリセットされます。

- データが最大値 (9999.9) を超えた場合。
- SETTING MENU から単位を変更した場合。
- バッテリー接続を切り離した場合。

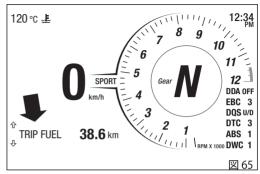
参考

車両がリザーブ走行に入ると、その時点で表示されている機能に関係なく、TRIP FUEL 機能が自動的に表示されます。

ただし、ブラウズボタンを使用して、別の機能もスクロール表示することはできます。

の参考

SETTING MENU内にいる場合やPIN Codeを入力して車両のロック解除を行っている場合は、TRIP FUEL 機能は表示されません。



参考

TRIP FUEL 機能の表示中にリザーブ走行が終了すると、インストルメントパネルはTOT機能の表示に戻ります。

TRIP 2

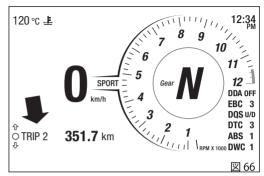
TRIP 2 機能は、車両の部分走行距離を表示します。 データが最大値 9999.9 を超えると、カウンターは自 動的にリセットされ、再び 0.0 からカウントを始めま す。

カウンターのリセット:

- ブラウズボタンを押して "TRIP 2" を表示します。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- ENTER ボタンを押して決定するか、UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルします。

以下のような場合には、TRIP 2 カウンターが自動的に リセットされます。

- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で 変更した場合。



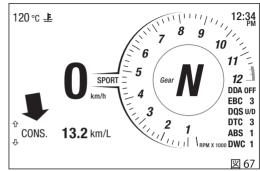
エラー

CONS. 機能は瞬間燃費を表示します。 データは設定された単位(km/L、L/100 km、mpg UK、 mpg US) で表示されます)。

一参考

瞬間燃費は、車両が起動し、動いている場合にのみ計算されます。

瞬間燃費が算出されない場合は、3本の点線"--."が データの代わりに表示されます。



PLAYER (OFF / ON)

この機能は音楽プレーヤー操作を有効、無効にします。

Bluetooth コントロールユニットを搭載し、スマート フォンが接続されている場合にのみ利用できます。 機能を "OFF" または "ON" に設定します。

人重要

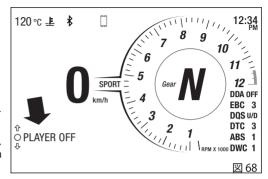
インストルメントパネルに Bluetooth 接続しているスマートフォンの接続を解除するか電源を切ると、この機能はリスト内に表示されなくなります。スマートフォンがインストルメントパネルに Bluetooth 接続された時に、再び表示されます。

の参考

■ スマートフォンの他にライダーヘルメットインターコムが接続されている場合は、音楽はヘルメットのイヤホンを通して再生されます。

一参考

LAP機能が起動している時に音楽プレーヤーを 起動(PLAYER ON) すると、LAP機能が OFF モードに設 定され中断されます。



参考

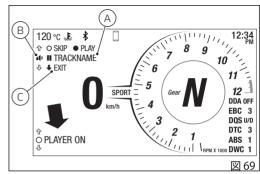
音楽プレーヤーが起動 (PLAYER ON) し、スマートフォンから曲を再生している時に LAP 機能を起動すると、曲の再生が中断され、機能が停止 (PLAYER OFF) します。

音楽プレーヤー操作の起動

音楽プレーヤー操作が "OFF" に設定されている場合 (図 68)、ENTER ボタンを押すとプレーヤー操作が起動します。 音楽プレーヤー操作が起動中は、接続しているスマートフォンで再生中の曲のタイトル (A)、可能な操作 (B)、"EXIT" の表示とその前に下向きの黒色矢印 (C) がディスプレイに表示されます。

の参考

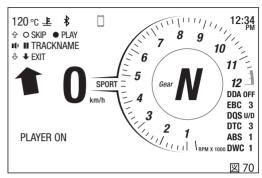
完全な曲名は一度だけ右から左にスクロールで表示され、その後は曲名の最初の数文字だけが表示されます。曲タイトルが利用できない場合は、"NOT AVAILABLE"の文字が表示されます。



音楽プレーヤー操作

操作が起動している時、UPボタン、DOWNボタン、ENTERボタンは音楽プレーヤー操作専用ボタンになります。具体的には:

- Play / Pausa (再生 / 一時停止): ENTER ボタンを 2 秒間押し続けます。
- 次の曲に "SKIP" (スキップ): ENTER ボタンを押します。
- 音量を上げる "+": UP ボタンを押します。
- 音量を下げる "-": DOWN ボタンを押します。
- 音楽プレーヤー操作から出る: DOWN ボタンを 2 秒間押します。



起動中の音楽プレーヤー操作から出る(ON)

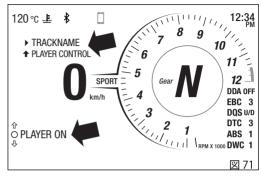
曲の再生中など音楽プレーヤーを起動したままプレーヤー操作から出るには(図 70)、DOWN ボタンを 2 秒間押します。

これにより、UPボタン、DOWNボタン、ENTERボタンの機能が音楽プレーヤー操作ではなく、通常のインストルメントパネル操作に戻ります。

機能を起動すると、メニュー内に"PLAYER ON"の表示が現れます。再生中の曲名の下には、黒色の上向き矢印と"PLAYER CONTROL"の文字が表示されます(図 71)。

の参考

プレーヤーの起動中であれば、機能を変更しても(例:TRIP 1)、再生中の曲名はディスプレイに表示され続けます。



音楽プレーヤー操作に戻る (ON)

音楽プレーヤー操作に戻るには、PLAYER ON 機能を表示し (図 71)、UP ボタンを 2 秒間押してください。 UP、DOWN、ENTER ボタンの機能が、音楽プレーヤー操作に戻ります (図 70)。

音楽プレーヤー操作の停止

曲の再生を中止して音楽プレーヤーを停止するには、 PLAYER ON 機能を選択し(図 71)、ENTER ボタンを押 します。

機能は "PLAYER OFF" 表示になります (図 68)。

LAST CALLS

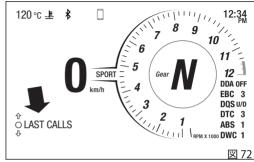
この機能は不在着信、発信、着信の履歴を表示します。Bluetooth コントロールユニットを搭載し、スマートフォンが接続されている場合にのみ利用できます。

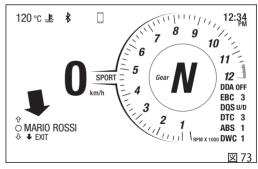
ENTER ボタンを押して履歴一覧を表示します (図72)。 この機能に入ると、ディスプレイに "WAIT.." の文字が 数秒間表示され、続いて最後の通話相手の名前と番号 が表示されます (図73)。

発信、受信、不在着信の履歴は最大7件まで表示されます。

ブラウズボタンを使用して、履歴一覧をスクロールすることができます。一覧から選択した電話番号/名前に発信するには、ENTERボタンを押します。詳しくは"インフォテインメント"の章を参照してください。通話履歴が何もない場合は、ディスプレイに"EMPTY"の文字が表示されます。この場合には機能の終了だけが可能です。

機能を終了して前の画面に戻るには、DOWNボタンを2秒間押します。

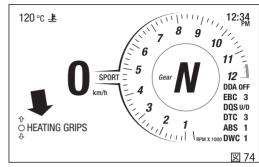


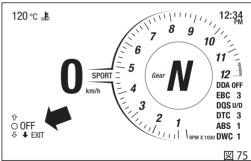


HEATING GRIPS

ヒーテッドグリップを装備している場合にのみ表示され、ヒーテッドグリップの調整が可能です。 レベルの設定:

- ブラウズボタンを押して "HEATING GRIPS" を表示 します (図 74)。
- ENTER ボタンを押します。
- 現在のレベルが表示されます(図75)。ブラウズボタンを使用して、設定可能なレベル(OFF、LOW、MEDIUM、HIGH)をスクロールできます。
- ENTER ボタンを押して新しいレベルを決定するか、DOWNボタンを数秒間長押ししてキャンセルします。



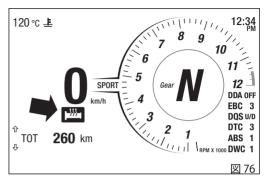


"OFF" 以外のレベルを選択した場合は、メイン画面に ヒーテッドグリップのマークが現れます。このマーク が点灯すると、ヒーテッドグリップの加熱準備ができ ていることを示します。

ヒーテッドグリップが実際に作動する(加熱される)のは、エンジン稼働中に一定の回転数が維持されている場合のみです。

ヒーテッドグリップが実際に作動すると、設定されているレベルに対応する色にアイコンの色が変わります。

- LOW = 緑
- MEDIUM = オレンジ
- HIGH = 赤



SETTING MENU

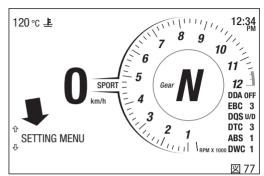
このメニューではいくつかの車両機能の ON/OFF および設定を行います。

安全上の理由により、車両の実速度が5km/h(3mph)以下の場合に限り、このメニューに入ることができます。 SETTING MENU が表示されている時に車両速度が5km/h(3mph)を超えると、インストルメントパネルは自動的にメイン画面表示に戻ります。

メニューに入るには、ブラウズボタンで "SETTING MENU" を選択し、ENTER ボタンを押します。

▲ 重要

全主 安全のために、このメニューは車両が停止している状態で使用してください。



SETTING MENUに入ると、ディスプレイの表示モードが変わります。

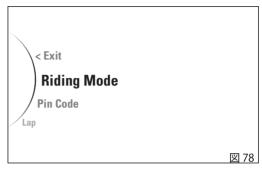
メニューには以下の機能が表示されます。

- Riding Mode
- Pin Code
- Lap
- Backlight
- Date and Clock
- Units
- Service
- Tire Calibration
- DRL Control DRL を搭載している場合のみ
- Bluetooth Bluetooth モジュールを搭載している 場合のみ
- DDA DDA が接続されている場合のみ
- Turn indicators
- Info

ブラウズボタンを使用して、これらの機能をスクロールすることができます。

目的の機能を表示してから、ENTERボタンを押してサ ブメニューを表示します。

サブメニューを終了するには、"Back" を選択して ENTER ボタンを押します。



SETTING MENU を終了するには、"EXIT" を選択して ENTER ボタンを押してください。

SETTING MENU - Riding Mode

各ライディングモードのそれぞれの設定をパーソナラ イズすることができます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- メニュー内には次の項目が表示されます。 "Race"、"Sport"、"Street"、"All Default" (いずれかのライディングモードのひとつ以上のパラメーターが初期設定値と異なる場合のみ表示されます)
- 目的の項目を選択し、ENTERボタンを押します。

各ライディングモードで以下のパラメーターをパーソナライズすることができます。Engine、DTC、ABS、DWC、EBC、DQS。

設定値は、車両をオフにした後も保持されます。

▲ 警告

パラメーター変更は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。意図せず変更してしまった場合は、"Default"機能を使用してパラメーターを修復してください。



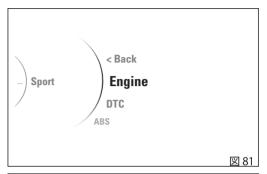


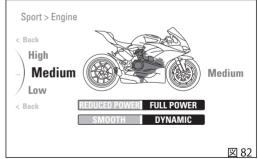
SETTING MENU - Riding Mode - Engine

ここでは各ライディングモードに連動したエンジン出力を設定することができます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Engine"を選択し、ENTER ボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な項目"High"、"Medium"、"Low"が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイクの輪郭と、参照表が表示されます。ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。





SETTING MENU - Riding Mode - DTC

この機能では一つのライディングモードのDTCシステム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

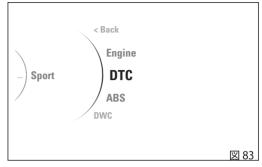
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DTC" を選択し、ENTER ボタンを押します。

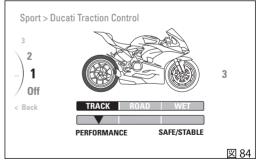
機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル"1"~"8"、"Off")が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。 さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイクの輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

参考

MC も自動的に Off" に設定すると、DWC も自動的に Off" に設定されます。





SETTING MENU - Riding Mode - ABS

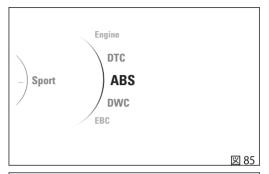
この機能では一つのライディングモードの ABS システム介入レベルの設定を行うことができます。

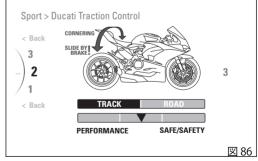
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "ABS" を選択し、ENTER ボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル"1"~"3") が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。





SETTING MENU - Riding Mode - DWC

この機能では一つのライディングモードの DWC システム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DWC" を選択し、ENTER ボタンを押します。

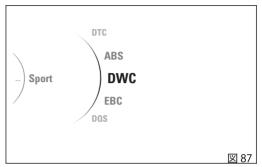
機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル "1"~"4"、"Off") が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

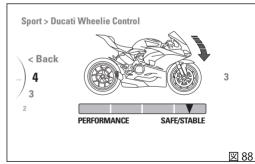
さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

一参考

■ DTC が "Off" に設定されている場合は、DWC は 強制的に "Off" 設定になり、パラメーターを変更する ことはできません。その結果、DWC メニューも利用 できません。





SETTING MENU - Riding Mode - EBC

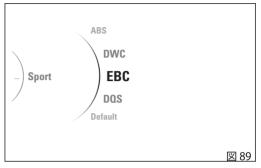
この機能では一つのライディングモードの EBC システム介入レベルの設定を行うことができます。

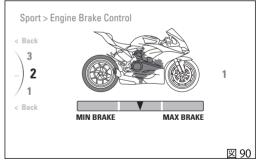
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "EBC"を選択し、ENTERボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル"1"~"3") が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。





SETTING MENU - Riding Mode - DQS

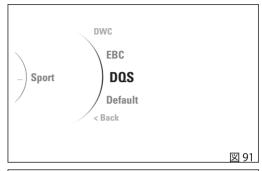
この機能では一つのライディングモードの DQS システム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

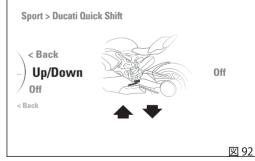
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DQS" を選択し、ENTER ボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定("Up/Down"、"Off")が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

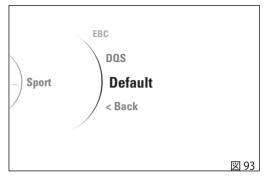




SETTING MENU - Riding Mode - Default

この機能では、ひとつのライディングモードの全パラメーターを初期設定値に回復することができます。工場出荷時の初期設定値から、ひとつ以上のパラメーター値が変更されている場合にのみ表示されます。

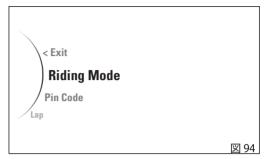
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Default" を選択し、ENTER ボタンを押して、すべてのパラメーターを初期設定値に戻します。



SETTING MENU - Riding Mode - All Default

この機能では、すべてのライディングモードの全パラメーターを初期設定値に回復することができます。 工場出荷時の初期設定値から、ひとつ以上のライディングモードでパラメーター値が変更されている場合にのみ表示されます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "All Default" を選択し、ENTER ボタンを押して、 すべてのパラメーターを初期設定値に戻します。





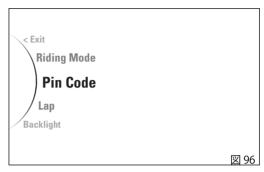
SETTING MENU - Pin Code

この機能でPIN CODE の有効化または変更を行います。 PIN CODE は最初車両に登録されていませんので、ユーザーが4桁のPINをインストルパネルに入力して有効にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に車両を一時起動することができません。 不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、"PIN CODE による車両の解除"の手順に従います。

A PIN CODE の登録および保存は、車両の所有者が行います。PIN CODEがすでに登録されている場合は、 Ducati 正規ディーラーに PIN CODE のリセットをご依頼ください。その際 Ducati 正規ディーラーは、車両の所有者確認をさせていただくことがあります。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー)に入ります。
- ブラウズボタンで"Pin Code"を選択し、ENTERボタンを押します。

これまでにPIN CODE が登録されたことがない場合は、メニュー内に "New Pin" と表示され、PIN CODE の登録を行えます。PIN CODE がすでに登録されている場合は、メニュー内に "Modify Pin" と表示され、保存されている PIN CODE を変更することができます。



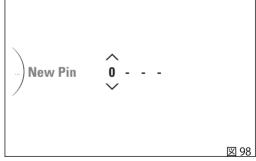
New Pin

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- "Pin Code" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "New Pin"を選択し(図97)、ENTERボタンを押します。

画面に "New Pin" の表示と、新規 PIN CODE を入力する 4 桁のスペースが表示されます (図 98)。 1 桁目の数値の上下に 2 つの矢印が表示され、設定が可能であることを示します。 コードの入力:

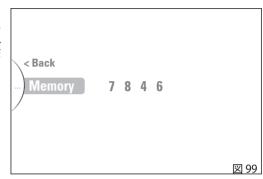
- UPボタン、DOWNボタンを押すと、数字が"0"~ "9"の間で1ずつ増減します。
- ENTERボタンを押して数字を決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。





4桁目を入力してから ENTER ボタンを押すと、 "Memory" の文字がオレンジ色で表示されます。もう 一度 ENTER ボタンを押して、入力したコードを保存し ます。 "Memorized" の表示が緑色で2 秒間表示されま

画面は PIN CODE 機能の最初のメニューに戻り、"New Pin" の代わりに "Modify Pin" が表示されます。



Modify Pin

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- "Pin Code" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Modify Pin" を選択し (図 100)、ENTER ボタンを 押します。

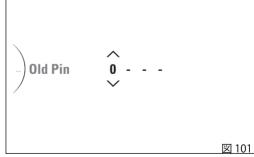
画面に"Old Pin"の表示と、旧PIN CODEを入力する4桁のスペースが表示されます(図98)。1桁目の数値の上下に2つの矢印が表示され、設定が可能であることを示します。コードの入力:

- UPボタン、DOWNボタンを押すと、数字が"0"~ "9"の間で1ずつ増減します。
- ENTERボタンを押して数字を決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。

4桁目を入力してから ENTER ボタンを押すと、以下のようになります。

- PIN CODE が正しくない場合、インストルメント パネルは "Wrong" を赤色で 2 秒間強調表示しま す。その後、前の画面に戻り、もう一度コードを 入力することができます。
- PIN CODE が正しい場合は、インストルメントパネルは "Correct" を 2 秒間表示し、その後新しいPIN CODE の入力画面に進みます。この場合は、





"New Pin" の項を参照して新規コードを入力して ください。

SETTING MENU - Lap

この機能で LAP (ラップタイム) の起動/解除、記録されているラップタイムの閲覧が可能です。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Lap" を選択し、ENTER ボタン を押します。

このメニュー内には "On" または "Off"、"Lap Data"、 "Erase All" (ラップが記録されている場合にのみ表示) が表示され、右側に機能の現在の状態が表示されま す。

希望する表示を選択し、ENTERボタンを押して機能を 有効にします。

- "On": LAP 機能を記動します。
- "Off": LAP 機能を解除します。
- "Lap Data":記録されているラップを表示します。
- "Erase All":記録されている全ラップを消去します。

車両の起動時、Lap機能は常に "Off" に設定されます。





Lap Data

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Lap"を選択し、ENTERボタン を押します。
- "Lap Data" を選択し、ENTER ボタンを押します。

記録されているラップと選択したラップのデータが一 覧で表示されます。

ブラウズボタンを使用して、ラップ一覧をスクロール表示できます。

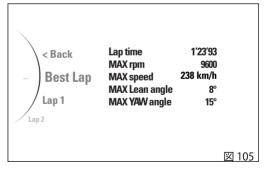
各ラップごとに表示されるデータ:

- 記録タイム
- 最高速度
- 最高回転数
- 最大リーン角
- 最大ヨー角

"Best Lap"を選択すると、ベストラップのデータが表示されます。

ラップ記録が存在しない場合は、"No Lap"の文字が表示されます。



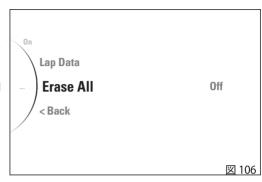


Erase All

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Lap"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "Erase All" を選択し、ENTER ボタンを押して全ラップ記録を消去します。"Wait..." の文字が 1 秒間表示された後、"Erase Ok" の文字が 1 秒間表示されて消去が完了したことを示します。

○ ^{参考}

Lap 機能の起動中に記録の消去手順を実行すると、インストルメントパネルは機能を解除します。



SETTING MENU - Backlight

この機能からディスプレイを Day モードまたは Night モードに設定できます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Backlight" を選択し、ENTER ボタンを押します。

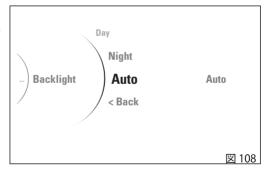
メニュー内には "Day"、"Night"、"Auto" の項目が表示され、右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

- 背景をホワイトに設定する"Day" モードは、周囲が十分に明るい場合に推奨されます。
- 背景をブラックに設定する "Night" モードは、周囲が暗い場合に推奨されます。
- "Auto" (デフォルト設定) モードは、周囲の明るさ に応じて自動で背景色を設定します。

の参考

✓ バッテリーの接続を切り離した場合には、バックライトは "Auto" モードに設定されます。





SETTING MENU - Date and Clock

この機能で日時を設定します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Date and Clock" を選択し、 ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Date"、"Clock" の項目が表示され、中央に現在設定されている日時が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

参考

日時が一度も設定されたことがない場合は、数値の代わりに点線 "-" が表示されます。 バッテリーの接続を切り離した場合は、新たに日時を設定する必要があります。

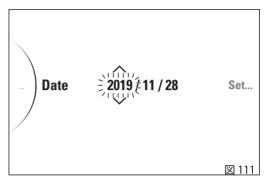




Date (日付の設定)

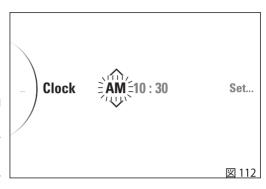
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Date and Clock" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Date" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 右側に"Set..." の文字が表示され、中央の「年」が 点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボタンを使 用して「年」を設定します。
- ENTER ボタンを押して「年」を決定します。
- 「月」が点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して「月」を設定します。
- ENTER ボタンを押して「月」を決定します。
- 「日」が点滅します。UPボタンまたは DOWN ボタンを使用して「日」を設定します。
- ENTER ボタンを押して、設定した日付を保存します。

日付が正しくない場合、インストルメントパネルは "Wrong" を 3 秒間表示した後、「年」の入力に戻ります。もう一度日付を設定してください。



Clock (時刻の設定)

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Date and Clock" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Clock" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 右側に "Set..." の文字が表示され、中央の "AM" または "PM" が点滅します。 UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用してパラメーターを設定します。
- ENTER ボタンを押して決定します。
- 「時」が点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して「時」を設定します。
- ENTER ボタンを押して決定します。
- 「分」が点滅します。UPボタンまたは DOWN ボタンを使用して「分」を設定します。
- ENTERボタンを押して、設定した時刻を保存します。



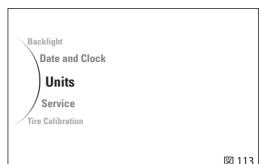
SETTING MENU - Units

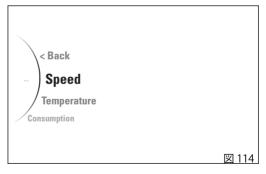
この機能はインストルメントパネルの表示単位を設定 します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Units" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- メニュー内には次の項目が表示されます。 "Speed"、"Temperature"、"Consumption"、"All Default" (ひとつ以上のパラメーターが初期設定値 と異なる場合のみ表示されます)
- 目的の項目を選択し、ENTERボタンを押します。

参考

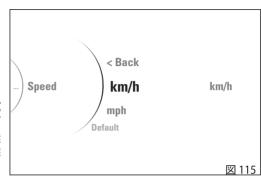
温度以外の単位を変更すると、TRIP 1、TRIP 2、
 CONS. AVG 1、SPEED AVG 1、TRIP TIME 1 の各機能が
 自動的にリセットされます。





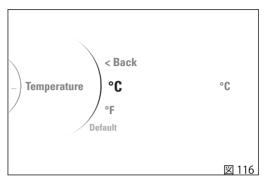
Speed

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Units" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Speed" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "km/h"、"mph"、"Default" (現在設定されている 単位が初期設定単位と異なる場合にのみ表示され ます) が表示されます。画面の右側には現在設定 されている単位が表示されます。
- ブラウズボタンを使用して、変更したい単位を選択するか、初期設定の単位に戻す "Default" を選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。



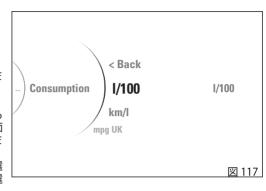
Temperature

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Units" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Temperature"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "°C"、"°F"、"Default" (現在設定されている単位 が初期設定単位と異なる場合にのみ表示されます) が表示されます。画面の右側には現在設定されて いる単位が表示されます。
- ブラウズボタンを使用して、変更したい単位を選択するか、初期設定の単位に戻す "Default" を選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。



Consumption

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Consumption" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Temperature"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "I/100"、"km/l"、"mpg UK"、"mpg US"、"Default" (現在設定されている単位が初期設定単位と異なる 場合にのみ表示されます) が表示されます。画面 の右側には現在設定されている単位が表示されま す。
- ブラウズボタンを使用して、変更したい単位を選択するか、初期設定の単位に戻す "Default" を選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。

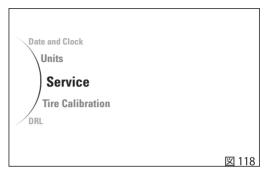


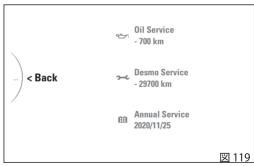
SETTING MENU - Service

この機能で今後のサービス情報を表示します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Service" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイには、以下のサービスに関する情報 が表示されます。
 - Oil Service (残りの走行距離)
 - Desmo Service (残りの走行距離)
 - Annual Service (日付)

この機能については変更は一切できません。ENTERボタンを押して終了します。





SETTING MENU - Tire Calibration

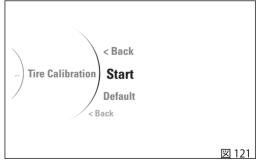
この機能でタイヤの円周長と最終減速比のキャリブレーションおよび自己学習の手順を行います。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Tire Calibration" を選択し、 ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Start"、"Default" (キャリブレーションが初期設定値と異なる場合にのみ表示されます) が表示されます。

目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。





Start

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Tire Calibration" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Start" を選択し、ENTER ボタンを押します。

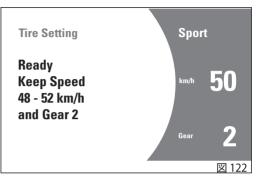
キャリブレーションプロセスを起動すると、インストルメントパネルには "Ready" の文字が点滅し、"Keep Speed" の文字が表示されます。加えて、自己学習を正常に完了するために維持するべき速度範囲とギアが表示されます。右側には参照しているライディングモード、実速度、ギアが表示されます。

▲ 重要

走行速度 48 Km/h (30 mph) ~ 52 Km/h (32 mph) を維持し、ギアを 2 速に入れた状態においてのみ自己学習プロセスを実施することができます。

速度とギアが指定の状態になると、システムのキャリブレーションが開始されます。上記すべての情報が表示され、"Ready"の代わりに"In progress"が表示されます。 スピードとギアが指定のパラメーターに5秒間維持された時にキャリブレーションが実行されます。

キャリブレーション手順を中止するには、UP ボタンを2秒間長押しします。この場合は、インストルメントパネルに上記の全情報が表示され、"In progress"の



文字が "Aborted" の文字に変わります。そして数秒後 に前のメニュー画面に戻ります。 自己学習プロセスが正常に終了すると、インストルメントパネルに"Completed"の文字が表示され、数秒後に前のメニュー画面に戻ります。

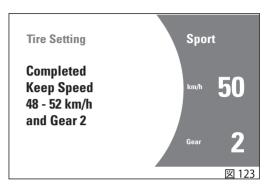
ユーザーがキャリブレーションを中止した場合は、インストルメントパネルに "Aborted" の文字が表示され、数秒後に前のメニュー画面に戻ります。一方、キャリブレーションプロセスの途中でエラーや不具合が検出された場合は、インストルメントパネルに "Failed"の文字が表示され、数秒後に前のメニュー画面に戻ります。

○ ^{参考}

★キャリブレーションプロセスの途中で走行速度が100 km/h (62 mph) を超えるか、もしくは車両をオフにすると、キャリブレーションは中断されます。

デフォルト

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Tire Calibration" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Default" を選択し、ENTER ボタンを押して初期 設定値に戻します。
- "Default Please Wait..." の文字が表示されてから、 "Default ok" の文字が 2 秒間表示され、前のメニュー画面に戻ります。



SETTING MENU - DRL

この機能では、DRLをオートモードかマニュアルモードに設定することができます。

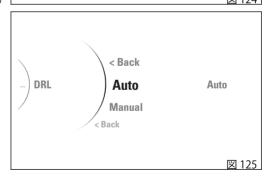
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"DRL"を選択し、ENTERボタン を押します。

メニュー内には "Auto"、"Manual" の項目が表示され、 右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

の参考

➤ バッテリーの接続を切り離した場合には、自動的に "Auto" モードに設定されます。





テールランプの取り付け

この機能では、ペアリング済みの Bluetooth デバイス の管理およびデバイスのペアリングが可能です。 Bluetooth モジュールが車両に搭載されている場合に のみ、この機能が表示されます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Bluetooth" を選択し、ENTER ボタンを押します。

メニュー内には、ペアリング済みデバイスの表示・削除を行う "Associated Devices" の項目と、新規にデバイスをペアリングする "Pairing" の項目が表示されます。

目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

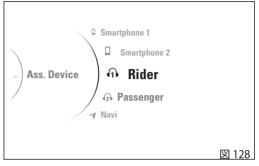


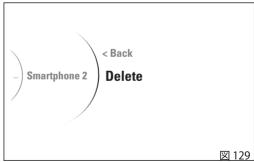


Associated Devices

ペアリング済みデバイスの表示と削除を行います。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Bluetooth" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Associated Devices" を選択し、ENTER ボタンを 押します。
- ペアリング済みデバイスのリストが表示されます。目的のデバイスを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Delete"の文字が表示されます。これを選択して ENTERボタンを押すと、選択したデバイスがリストから消去されます。
- 数秒間 "Wait..." の文字が表示され、その後前のメニュー画面に戻ります。





Pairing

新しい Bluetooth デバイスをペアリングします。 インストルメントパネルは、4種類の Bluetooth デバイスのペアリング/接続を最大5台(スマートフォン2台、ライダーヘッドセット1台、パッセンジャーヘッドセット1台、ナビゲーター1台)まで管理します。

の参考

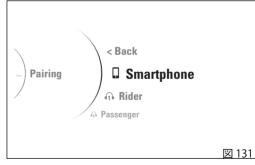
新規デバイスのペアリングを行う前に、デバイス側の Bluetooth が起動していること、また他の Bluetooth デバイスから検出可能になっていることを確認してください。デバイス本体の取扱説明書を必ずよくお読みください。

○ ^{参考}

ペアリング中に、デバイス(スマートフォンなど) 上で確認が求められる可能性があります。詳しくはデバイス本体の取扱説明書をご覧ください。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Bluetooth" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Pairing" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- インストルメントパネルで管理される4種類のデバイスが表示されます。ペアリングするデバイスの種類を選択し、ENTERボタンを押します。





- インストルメントパネルが周囲の Bluetooth デバイス検索を開始します。"Wait..." の文字が表示され、検出されたデバイスが表示されます。
- 検索が終了すると、検出された全デバイスがリスト表示されます。ブラウズボタンで希望のデバイスを選択し、ENTERボタンを押します。
- Bluetooth デバイス側の検証待ちの間、画面の右側に "Pairing…" の文字が表示されます。 ペアリングが正常に完了すると、インストルメントパネルは前のメニュー画面に戻ります。 "Pairing Error" の文字が表示された場合は、もう一度ペアリング手順を実行できます。

▲ 警告

▲ 以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット

の参考

入警告

Bluetooth スマートフォンおよびヘッドセットの 製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロト コルに変更を加えることがあります (スマートフォン、 ヘッドセット)。

人 警告

ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット (音楽共有、マルチメディア再生など) の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン (Bluetooth対応プロファイルによる) に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット (部品番号: 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していない スマートフォン ("Ducati キット 部品番号: 981029498" に付属するヘッドセットとペアリン グできる場合でも)

↑ **省古** 外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こっ た場合には、Ducatiキット(部品番号:981029498)で はライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメット への再生音楽の共有機能を使用することができます (詳しくは Ducati キット (部品番号: 981029498) に付 属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

■ Ducati キット (部品番号: 981029498) は、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお 求めいただけます。

SETTING MENU - DDA

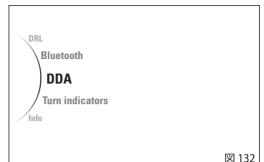
ここでは DDA 装置の起動および解除、メモリー占有率の表示、装置のメモリー削除を行うことができます。

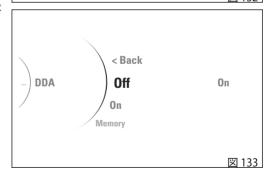
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "DDA" を選択し、ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Off"、"On"、"Memory" の項目が表示され、右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

参考

★ Key-OFF する度に DDA システムはインストルメントパネルにより自動的に解除されます。





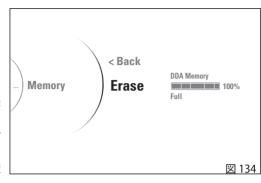
Memory

DDA が記録したデータの表示と削除を行います。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "DDA" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Memory" を選択し、ENTER ボタンを押します。

記録が存在しない場合、機能に入ると "Empty" の文字が表示されます。そうでない場合は、メモリの状態を表すパーセンテージとバー、"Erase" の項目が表示されます。メモリが一杯の場合は、"Full" の文字が表示されます。

すべての記録データを消去する場合は、"Erase"を選択し、ENTER ボタンを押します。



SETTING MENU - Turn indicators

この機能では、ターンインジケーター操作を自動モードまたは手動モードに設定することができます。 ターンインジケーター自動解除ストラテジーは、リーン角度、走行速度、走行距離から算出されたデータを基にしています。

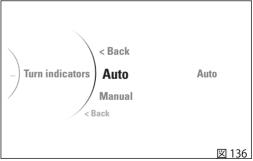
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Turn indicators" を選択し、 ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Auto"、"Manual" の項目が表示され、 右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

◇考バッテリーの接続を

バッテリーの接続を切り離した場合には、自動的に "Auto" モードに設定されます。





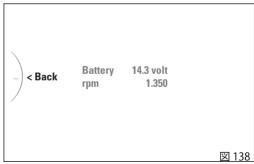
SETTING MENU - Info

この機能では車両のバッテリー電圧とデジタル表示の エンジン回転数を表示します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Info"を選択し、ENTERボタン を押します。
- ディスプレイにバッテリーに関する情報とエンジン回転数がデジタル形式で表示されます。

この機能については変更は一切できません。ENTERボタンを押して終了します。





ラップタイム (LAP Time)

ラップ機能を起動するには、"SETTING MENU - Lap" の章を参照してください。

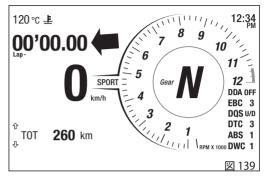
ラップ機能を起動すると、メイン画面にストップウォッチ "0'00.00" と、ラップタイム記録用のラップ数が表示されます。

最大30ラップまで記録が可能で、ラップごとに以下のパラメーターが記録されます。

- 記録タイム
- 最高速度
- 最高回転数
- 最大リーン角
- 最大ヨー角

記録が30番目のラップに達すると、それ以上ラップ を記録することはできず、"Lap Full"の文字が表示され ます。

別のラップを記録したい場合は、記録済みのラップタイムを消去する必要があります。消去手順は "SETTING MENU - Lap" の章をご覧ください。



GPS コントロールユニットなしのラップタイム 記録

車両にGPS コントロールユニットを搭載していない場合は、LAP機能を起動してから、FLASHボタンを使用してストップウォッチの作動、ラップタイムの記録が可能です。

- FLASHボタンを一回押すと、ストップウォッチと ラップ数が1秒間点滅し、ストップウォッチが作 動します。
- もう一度 FLASH ボタンを押すと、直前に記録されたタイムとラップが 1 秒間点滅し、5 秒間表示されます。その後、進行中のタイム測定とラップカウントに戻ります。

参考

新しいラップが記録されてから 5 秒以内に FLASH ボタンを押しても、何も起こりません。

GPS コントロールユニットを使用したラップタイム記録

車両にGPS コントロールユニットを搭載している場合は、LAP 機能の起動後、ラップ記録はインストルメントパネルによって自動管理されます。

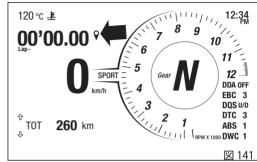
画面にはストップウォッチとラップカウントに加えて、GPS マーク (図 141) が現れます。 一周目のスタート時に FLASH ボタンを押すと、ストップウォッチがスタートします。ストップウォッチとラップ数が 1 秒間点滅します。

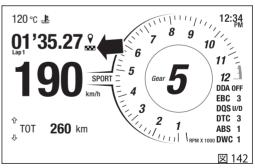
同時に、GPS コントロールユニットを介してフィニッシュラインの座標が保存され、「フィニッシュライン」マーク (図 142) が現れます。これ以降のすべてのラップはインストルメントパネルによって記録され、

FLASHボタンを使用してストップウォッチを管理する 必要はありません。

フィニッシュラインを通過するたびに、直前に記録されたタイムとラップが1秒間点滅し、5秒間表示されます。その後、進行中のタイム測定とラップカウントに戻ります。

フィニッシュラインの位置を変更するには、FLASHボタンをもう一度押します。それ以降のラップライムは、新しいフィニッシュライン座標を基に算出されます。





一度記録したフィニッシュライン位置は、GPS メモリ から手動で消去することはできません。消去する唯一 の方法は、記録したフィニッシュラインから 15 km (9) mi) 以上離れることです。

新しいラップタイムが記録されるたびに、保存 されている以前のラップタイムを上回っている場合 は、ストップウォッチが6秒間点滅します。ベストラ ップの算出は、2ラップ以上記録されている場合に行 われます。

○ ラップの記録中にタイムが「07'59.99」を超える と、ストップウォッチがリセットされ、再びカウント が始まります。

以下のような場合には、ストップウォッチが止 まりリセットされます。

- ラップ記録を開始してから5秒が経過しても、車 両速度がゼロである場合
- ラップタイム記録中に車両をオフにした場合
- 配録中に走行速度が5km/h(3mph)を下回った場

記録されているラップが存在しない場合は、ラ ップカウンターに "Lap -" と表示されます。

▲ LAP 機能が起動している時に音楽プレーヤーを 起動(PLAYERON)すると、LAP機能がOFFモードに設 定され中断されます。

音楽プレーヤーが起動 (PLAYFRON) し、スマー トフォンから曲を再生している時にLAP機能を起動す ると、曲の再生が中断され、機能が停止(PLAYER OFF) します。

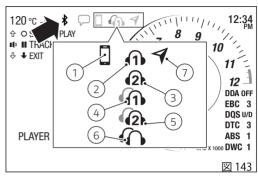
インフォテインメント

Bluetooth コントロールユニットを搭載している場合は、インストルメントパネルに Bluetooth マークが表示されます。

インストルメントパネルに搭載されているインフォテインメントシステムから、Bluetooth 接続されるスマートフォン、ライダーインターコム、パッセンジャーインターコム、衛星ナビゲーターの4種類のデバイスを管理することができます。Bluetooth デバイスのペアリングまたは削除については、"SETTING MENU - Bluetooth"の章を参照してください。接続後は以下のように表示されます。

- 1) 接続スマートフォン
- 2) 接続ライダーインターコム
- 3) 接続パッセンジャーインターコム
- 4) 接続ライダーインターコムとペアリング済みパッ ヤンジャーインターコム
- ペアリング済みライダーインターコムと接続パッヤンジャーインターコム
- 6) 接続ライダーインターコムと接続パッセンジャー インターコム
- 7) 接続 Ducati ナビゲーター

接続されているデバイスは水色のアイコンで表示されます。一方、接続されていないペアリング済みデバイスはグレーのアイコンで表示されます。



インストルメントパネルにスマートフォンを接続している場合は、音楽プレーヤーと通話履歴の操作が可能です。"PLAYER (OFF / ON)"と "LAST CALLS" の章をご覧ください。

次のような場合にインストルメントパネルがどのよう に作動するかを以下に示します。

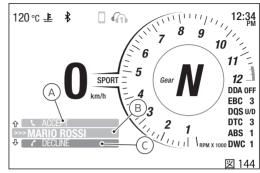
- 着信
- 通話中
- 直前の電話番号にリダイヤル
- 不在着信
- 受信したメッセージ / E メール

着信

着信があると、ディスプレイは以下のように表示され ます。

- "ACCEPT"の文字(A)
- 発信元の名前/電話番号(B)
- "DECLINE"の文字(C)

着信に応答する場合は UP ボタンを押し、着信を拒否する場合は DOWN ボタンを押します。



通話中

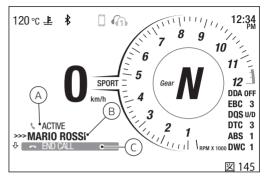
通話中は、インストルメントパネルに次のように表示 されます。

- "ACTIVE" 表示 (A)
- 通話相手の名前/電話番号と、その前に着信を受けた場合は ">>>" マーク (B)、発信した通話の場合は "<<<" マーク
- "END CALL"の文字 (C)

DOWN ボタンを押して通話を終了します。

の参考

■ スマートフォンの他にライダーヘルメットインターコムが接続されている場合は、通話中の会話はヘルメットのイヤホンとマイクを通して再生されます。



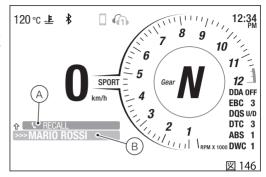
直前の電話番号にリダイヤル

通話を終了した場合、または不在着信、着信拒否した場合は、インストルメントパネルは RECALL 機能を 5 秒間有効にし、直前の電話番号にリダイヤルすることができます。

インストルメントパネルの表示:

- "RECALL"の文字(A)
- 通話相手の名前/電話番号と、その前に "<<<"マーク (発信) または ">>>" マーク (着信) (B)

表示されている名前/電話番号にリダイヤルするには、 UP ボタンを押します。



不在着信

不在着信があると、ディスプレイにマーク(A)が60秒間表示されます。マークは最初の3秒間点滅します。

の参考

不在着信の相手番号は表示されません。

受信したメッセージ / E メール

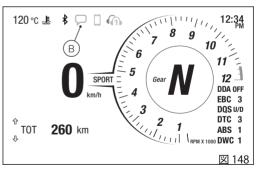
メッセージや E メールを受信すると、ディスプレイにマーク (A) が 60 秒間表示されます。マークは最初の 3 秒間点滅します。

の参考

の参考

Ducati Link (iOS および Android 用) アプリをスマートフォンにダウンロードすると、さらに豊富なサービスを利用することができます。その中には、ルート保存、車両データの保存、定期点検データの閲覧、車両パラメーターの設定など、他にも多数用意されています。





DRL モード表示

この機能は DRL を搭載している場合にのみ利用でき、 DRL が "AUTO" モードに設定されていることを示します。

SETTING MENU 内の DRL 機能から、DRL の操作モードを変更できます ("SETTING MENU - DRL" の章をご覧ください)。

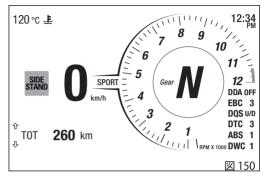
DRL が"AUTO" モードに設定されている時は、図中に 示すランプがインストルメントパネルに表示されま す。



サイドスタンドのステータス表示

サイドスタンドが下りている/開いている場合には、 赤色の背景に "SIDE STAND" アイコンがディスプレイ に表示されます。

インストルメントパネルがサイドスタンドの状態に関するデータを受信しない場合、"SIDE STAND" アイコンが点滅して不明の状態を表します。



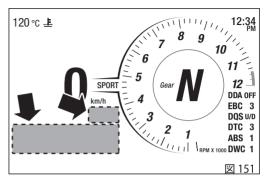
メンテナンス表示 (SERVICE)

この表示は、Ducati正規サービスセンターで車両のメンテナンス (定期点検) を実施する必要があることをユーザーに通知します。

メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができます。

メンテナンス間隔の種類は図中に示す領域に表示されます。メンテナンスの種類には以下のものがあります。

- OIL SERVICE カウントダウン
- DESMO SERVICE カウントダウン
- ANNUAL SERVICE カウントダウン
- OIL SERVICE
- DESMO SERVICE
- ANNUAL SERVICE

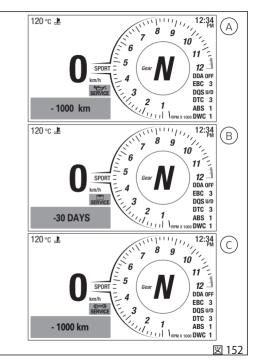


OIL SERVICE カウントダウン、ANNUAL SERVICE カウントダウン、DESMO SERVICE カウントダウン

サービスの設定期限が近づくと、車両を起動するたび に以下の表示が黄色で5秒間表示されます。

- OIL SERVICE カウントダウン (A) は、OIL SERVICE の実施まで残り 1,000 km (621 miles) になると起 動します。
- ANNUAL SERVICE カウントダウン (B) は、 ANNUAL SERVICE の実施まで残り 30 日になると 起動します。
- DESMO SERVICE カウントダウン (C) は、DESMO SERVICE の実施まで残り 1,000 km (621 miles) に なると起動します。

SETTING MENU 内の "Service" 機能から、サービス期限を表示することができます ("SETTING MENU - Service" の章をで覧ください)。

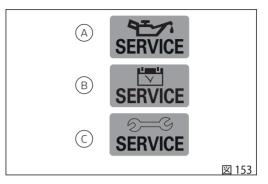


OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE

次のメンテナンス実施期限に達すると、必要なメンテナンスが通知されます。

- OIL SERVICE (A)
- ANNUAL SERVICE (B)
- DESMO SERVICE (C)

サービス表示は赤色で表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて "リセット" されるまで常時表示されます。 SETTING MENU 内の "Service" 機能から、サービス期限を表示することができます ("SETTING MENU - Service" の章をで覧ください)。



エラー表示

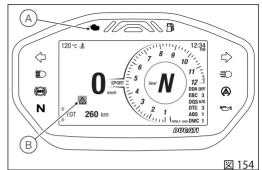
インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。

車両をオンにした時にエラーがひとつでも検知されると、インストルメントパネルのディスプレイに MIL ランプ (A) (エンジンコントロールユニットに直接関連するエラー)、もしくは一般的エラー警告灯 (B) (その他エラー全般) が点灯します。

車両の通常作動時にエラーが検知されると、インストルメントパネルには MIL ランプ (A) もしくは一般的エラー警告灯 (B) が点灯します。

| | 警告

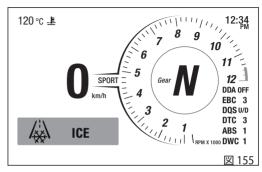
■ ひとつ以上のエラーが表示される場合には、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

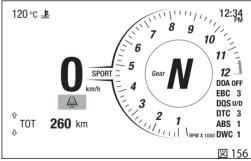


注意および警告

車両の使用中にユーザーに有用な情報を提供できるように、インストルメントパネルは一連の注意と警告を 管理します。

起動時に通知が存在する場合は、インストルメントパネルに警告またはアラームの表示が現れます。最初の5秒間は大きく表示され、その後小さく表示されます。複数の警告またはアラームが存在する場合は、3秒ごとに一つずつ順番に表示されます。





ICE (凍結)

この警告は、外気温が低いため路面凍結の危険がある ことを示します。

気温が4°C(39°F)以下になると作動します。気温が 6°C(43°F)まで上がると警告は解除されます。

この警告は、気温が4°C(39°F)を超えている 場合でも、凍結の可能性がないことを保証するもので はありません。気温が低い時に日陰や橋の上を走行す る際は、特に安全運転を心がけてください。

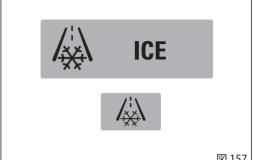


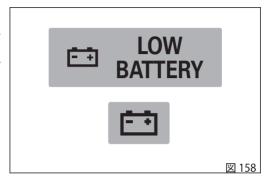
図 157

LOW BATTERY (バッテリー残量低下)

この警告は車両のバッテリー充電レベルが低下していることを示します。 バッテリー電圧が11.0V以下になると警告が表示されます。

の参考

警告が表示された場合は、専用機器を使用して 早急にバッテリーの充電を行ってください。

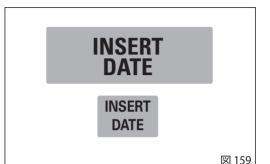


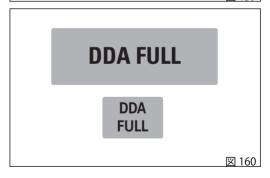
INSERT DATE (日付を入力)

この警告は、SETTING MENU内の "Date and Clock" 機能から日付を設定する必要があることを示します ("SETTING MENU - Date and Clock" の章をご覧ください)。

DDA FULL (DDA フル)

この警告は、DDA メモリーにこれ以上走行データを記録できないことを示します ("SETTING MENU - DDA" の章をご覧ください)。





ABS FRONT ONLY (ABS フロントのみ)

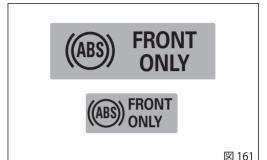
この警告は、ABSが前輪のブレーキングのみを制御する設定になっているため、運転には細心の注意を払う必要があることを示します。

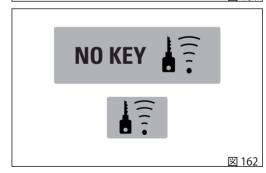
入 警告

● この場合、運転およびブレーキングに細心の注意を払うようにしてください。

NO KEY (キー不在)

この警告は、キーが認識できなかったことを示します。





主な整備作業とメンテナンス

フェアリングの取り外し

メンテナンスまたは修理作業を実施するために、モーターサイクルのいくつかのフェアリング部品を外すことが必要になる場合があります。

M警告

取り外した部品を再度取り付けていなかったり、 正しく取り付けられていないと、走行中に突然外れ、 車両の制御がきかなくなるおそれがあります。

▲ 重要

▲ へッドライトフェアリングの塗装済み部品およびウィンドスクリーンを破損しないよう、取り付けの際には必ずナイロンワッシャーを固定スクリューの位置に合わせて配置してください。

▲ 重要

フェアリングの取り外し作業は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

クーラントレベルの点検および補充

「メンテナンスプログラム」表で指定される間隔に従って、レベルを点検します。

フロントホイールのスペースから内側の点検用開口部から、車両右側にあるリザーバータンク内のクーラントレベルを点検します。

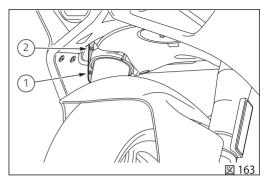
クーラントレベルがリザーバータンク脇にある MIN (1) 及び MAX (2) の目盛の間にあることを確認します。 クーラントレベルが MIN より下の場合は補充します。

人警告

■ この作業はエンジン冷間時に、水平な場所で車両を垂直に立てた状態で実施してください。

/ 重要

♪ プローラントの補充は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。



ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検

ブレーキ/クラッチフルードのレベルは、絶対に各リザーバータンクの MIN 目盛以下になってはいけません。

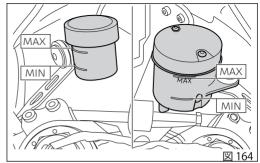
フルードレベルが下がりすぎると、回路内にエアが混入し、システムの作動に悪影響を及ぼします。また、「メンテナンスプログラム」表に指定されているブレーキ / クラッチフルード補充および交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにで依頼ください。

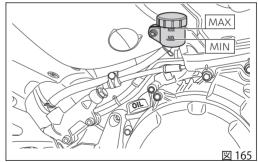
ブレーキシステム

ブレーキパッドが磨耗していないのにブレーキレバー、ブレーキペダルに過度の遊びがある場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡いただき、システムの点検とエア抜きを行ってください。

予警告

■ ブレーキ/クラッチフルードはプラスチック製部品や塗装部分に損傷を与えますので、これらの部分にフルードが触れないよう注意してください。これらの液体は腐食性ですの損傷やケガを引き起こすおそれがあります。異なる品質のオイルを混ぜないでください。ガスケットの状態を点検してください。





クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの 際にエンジンがノッキングしたり止まったりする時 は、システム内にエアが混入している事があります。 システムを点検とエア抜きを行う必要があるため、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連 絡ください。

警告 クラッチフルードレベルはクラッチディスクの 磨耗材が消耗すると上昇する傾向があります。規定レ ベルを超えないようにしてください(最低レベル上3 $mm (0.12 in))_{o}$

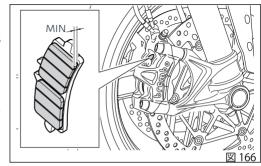
ブレーキパッドの摩耗点検

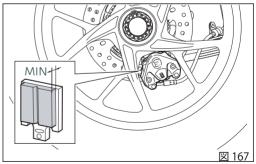
キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検しま す。どちらか片方でもパッドの厚さが約 1 mm (0.04 in)になっている場合は、両方のパッドを交換します。

・パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと

金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディ スクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそ れがあります。

プレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラ 一またはサービスセンターで実施してください。



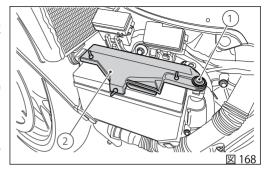


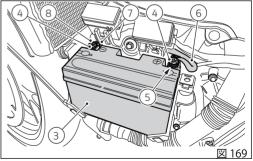
バッテリーの充電

バッテリーを充電する際は、バッテリーを車両から取り外してください。

バッテリーの取り外し

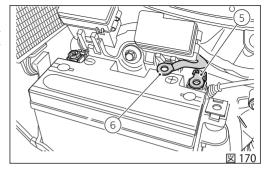
- 左側フェアリングを取り外します。
- スクリュー(1)を緩め、バッテリー固定カバー(2)を取り外します。
- バッテリー(3)を取り付け位置から抜き取ります。
- 必ずマイナス極 (-) からスタートし、スクリュー (4) を緩めます。
- マイナス極からマイナスケーブル (7) とエンジン アースケーブル (8) を取り外します。
- プラス極からプラス極ケーブル(5) と ABS プラスケーブル(6) を取り外します。

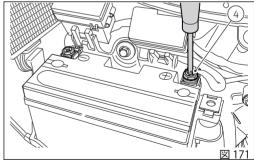




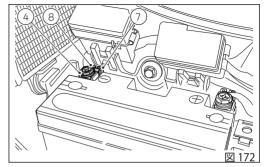
バッテリーの取り付け

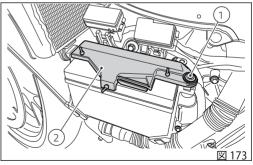
ABS システムのプラスケーブル (6) をプラスケーブル (5) の上に置き、スクリュー (4) をその上に差し込みます。





- エンジンアースケーブル(8)をマイナスケーブル(7)の上に置き、スクリュー(4)をその上に差し込みます。
- 電極のスクリュー(4)を締め付けます。
- 酸化を防ぐためにバッテリー電極周辺にグリースを塗布します。
- ケーブルを(図 169)に示すように向け、バッテリー(3)をマウントに配置します。
- バッテリー固定カバー(2)を取り付け、スクリュー(1)を締め付けてカバーを固定します。
- 左側フェアリングを取り付けます。





- 端子に充電器のコンダクターを接続します。赤い端子がプラス(+)、黒い端子がマイナス(-)です。
- バッテリーを 0.9A で 5 ~10 時間充電します。

警告

▼≛ バッテリーは爆発性のガスを発生させます。熱 源から遠ざけてください。

入警告

▲ バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

▲ 重要

▼ バッテリーを充電器に接続する前に充電器の電源を入れないでください。接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する恐れがあります。接続は常に赤のプラス (+) 端子から行ってください。

人 警告

■ バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花や炎、タバコを近づけないでください。バッテリー充電中、作業エリアが適切に換気されていることを確認してください。

入警告

▼1 車両のバッテリーが完全に放電しているために 始動が不可能な場合、外部エンジンスターターや外部 バッテリーを並列に接続してバイクを始動することは 許可されていません。

実際、充電システムは、完全に放電したバッテリーでエンジン電子機器(点火/噴射システムを含む)への正しい供給電圧を保証するようには設計されていません。これは、機能的に重大な問題を引き起こす可能性があります。

バイクを使用する前に、バッテリーの交換または充電 を行い、点検してください。

人警告

バイクの押しがけはしないでください。

トランスミッションチェーン張力の点検

 重要
 チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラー またはサービスセンターで実施してください。

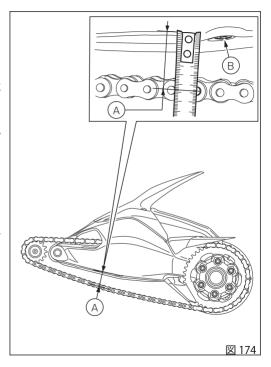
- リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位 置を探します。
- チェーンの測定位置を指で下に押して放します。
- サイドスタンドで車両を支えて駐車します。
- 固定スクリュー (B) 前のプラスチックとスイング アーム間にメジャーを挿入し、チェーンピンの中 心までの距離 (A) を測定します。

 $A = 45 \sim 47 \text{mm} (1.77 \sim 1.85 \text{ in})$ A = 40~42 mm (1.57~1.65 in) (台湾バージョ

ンのみ)

|重要

この手順は、納車時と同じ標準設定の車両に対 してのみ有効です。



蒼

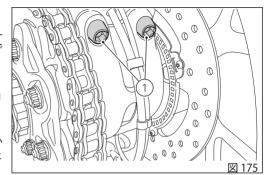
全全な走行状態を維持するには、スイングアームのスクリュー(1)を正しく締め付けることが重要です。

| 重要

・ チェーンの張りが不適切だとトランスミッション部品の磨耗を早めます。

人重要

チェーンが常に最高レベルの性能を維持し、かつ長持ちするようにするため、チェーンの洗浄、チェック、張りに関する情報に従うことを推奨します。



チェーンの潤滑

▲ 重要

トライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

入警告

■ この作業は、車両のスイッチを切り、乾いた平 坦な場所にスタンドで駐車した状態で実施してください。

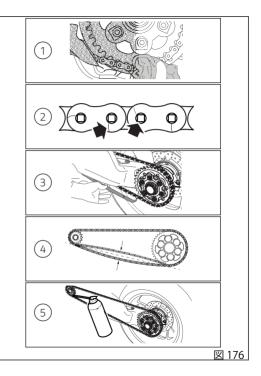
清掃

チェーンの潤滑を行う前に、チェーンを正しく洗浄し、清掃することが重要です。

チェーンの清掃は、その寿命を伸ばすために非常に重要なことです。チェーン上に泥や土、砂、その他一般的な汚れが見られる場合は、頑固な汚れをまず湿らせた柔らかい布(1)でやわらかくしてからウォータージェットで取り除き、その後すぐに30cm(11.81インチ)以上離れたところから圧縮空気で乾燥させてください。

チェーンの点検

本車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑状態を長く保つ 0 リングガスケット付きチェーンが装着されています。



指定箇所(2)のリンクを点検して、チェーンの摩耗状 チェーンスライダーの点検 能を確認します。

■ 蒸気やガソリン、溶剤、硬いブラシやその他、O リングを傷つけるものは使用しないでください。さら にバッテリー電解液との接触を避けてください。図の ように、リンクに小さなひび割れができるおそれがあ ります。

特にバイクをオフロードで使用する場合は、チ ェーンガイドスライダーとの接触により、リンクが過 度に摩耗することがあります。摩擦によりチェーンが 過熱し、チェーンの熱処理が損なわれ、その結果特に リンクがもろくなるおそれがあります。

チェーンスライダー(3)の摩耗状態を確認し、必要な 場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセン ターにで連絡ください。

チェーン張力の点検

「ドライブチェーン張力の点検」の記載に従って、チ ェーン張力(4)を確認してください。 チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラーまたは サービスセンターで実施してください。

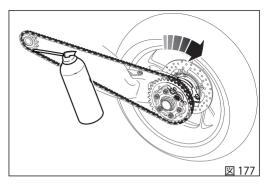
潤滑システム

重要 ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターで実施してください。

潤滑には SHELL Advance Chain を使用してくだ さい。規定以外の潤滑剤を使用するとのリングや、そ れに伴ってトランスミッションシステム内部を損傷す ることがあります。

チェーンの潤滑(5)は、新しい潤滑剤がリンク間の内 外に染み込み、保護作用がより効果的に発揮されるよ う、バイクの使用後、車両が冷えるのを待たずに行っ てください。

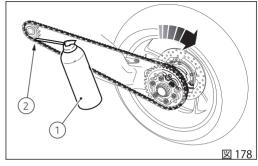
リアパドックスタンドに車両を駐車します。リアホイ ールを進行方向とは逆の方向に速く回転させてくださ い。

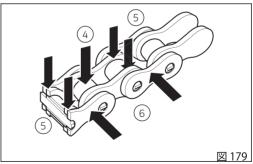


チェーン内部のリンクの内側と外側に、スプロケット とのかみ合わせの直前の箇所 (2) で、潤滑剤 (1) のジェットを噴射します。

遠心力によりスプレーの中身が液状になり、潤滑剤が ピンとブッシュの間の作動部分に行き渡り、完璧な潤 滑を保証します。

潤滑剤のジェットをチェーンの中央部 (5) に配置して作業を繰り返し、図のようにニードルベアリング (4) および外側のプレート (6) を潤滑します。





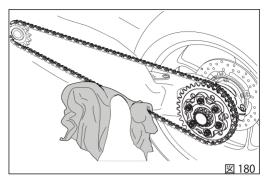
潤滑の終了後10~15分待ち、チェーンの内側と外側 表面に潤滑剤を行き渡らせ、その後余分な潤滑剤を布 でふき取ります。

▲ 重要

チェーンの潤滑後、すぐにバイクを使用しないでください。潤滑の直後は潤滑剤がまだ流れやすく、外側に向かって飛び散り、後輪やライダーフットペグを汚す可能性があります。

/ 重要

チェーンのチェックを頻繁に行い、プログラムされた表に従って、少なくとも1000 km (621 マイル)毎に行ってください。外気温度が高い(40°C)土地での使用時、または長距離におよぶ高速道路での走行の後は、より頻繁(約400 km (248 マイル)毎)に潤滑を行ってください。

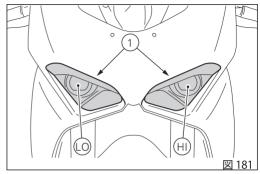


ハイビーム/ロービーム電球の交換

ヘッドライトユニットはフルLEDですので、メンテナンスの必要はありません。図ではハイビームランプ (HI)、ロービームランプ (LO)、パーキングランプ (1) の位置を示しています。ランプの交換は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

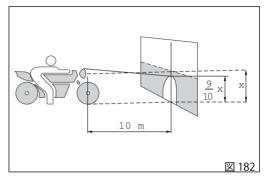
リアターンインジケーター

ターンインジケーターライトはLED 電球なのでメンテナンスの必要はありません。



ヘッドライトの光軸調整

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員1名がシートに乗った状態で、車両を壁面またはスクリーンの前10メートル(32.8フィート)の場所で縦軸に対して垂直に立て、ヘッドライトが正しい向きになっていることを確認します。壁にヘッドライトの中心と同じ高さで水平に線を引き、車体の縦軸に対応する垂直線も引きます。この点検は薄暗い場所で行ってください。ロービームランプを点灯し、左右の光軸調整を行います。照射領域の上限が、床面からヘッドライトの中心までの高さの9/10以下でなければなりません。



○ ^{参考}

■ この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法律に従い光軸調整を行ってください。

ヘッドランプの光軸調整を行うには、車両前部、左右 に設けられたスクリュー(1)または(2)を回します。

左側のスクリュー (1) でハイビームランプを調整します。

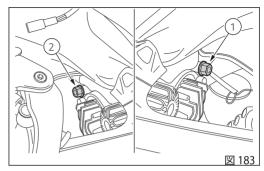
- 時計回りに回すと光軸が下がります。
- 反時計回りに回すと光軸が上がります。

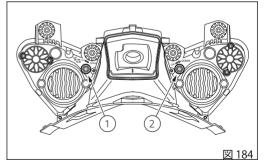
右側のスクリュー (2) でロービームランプを調整します。

- 時計回りに回すと光軸が下がります。
- 反時計回りに回すと光軸が上がります。

人警告

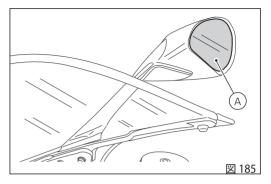
■ 雨天時または洗車後に車両を使用する際は、ランプレンズが曇っている場合があります。レンズ内の 結露はランプを点灯すると短時間で消えます。





リアビューミラーの調整

ポイント(A)を押しながらミラーを手動で調整します。



チューブレスタイヤ

タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化します。標高の高い場所や気温差のある場所を走行する時は、その都度点検と調整を行ってください。

タイヤの種類とタイヤ空気圧については、「テクニカル仕様」セクションの「タイヤ」を参照してください。

タイヤの修理、交換(チューブレス)

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気 の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかること があります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、 パンクの可能性をチェックします。

入警告

■ パンクしたタイヤは交換してください。交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダーに重大な危険を及ぼすおそれがあります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を 行ってください。

▲ 警告

▲ ホイールのバランスウェイトを外したり、移動 させたりしないでください。

参考

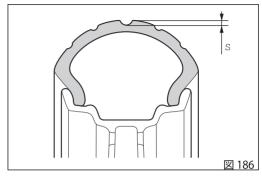
タイヤの交換ではホイールを正しく着脱することが重要です。タイヤ交換は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。ホイールにはセンサー、フォニックホイールなどのABSシステム部品が装着されており、特別の調整が必要になります。

タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所 (S) の溝の深さを測定します。溝の深さは 2 mm (0.08 in) 以上でなければならず、また現地法で定めれた規定値以下であってはなりません。

▲ 重要

タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドの溝に入り込んだ石や異物は取り除いてください。



エンジンオイルレベルの点検

エンジンオイルの量は、クラッチカバーにある点検窓 (1) から見ることができます。

オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイルを補充してください。

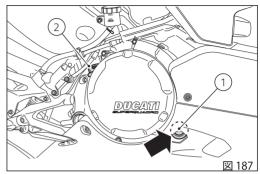
ドゥカティ社規定オイルは SAE 15W-50/JASO MA2 のみで、推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 (JASO: MA2、API:SN) です。

フィラーキャップ (2) を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。フィラーキャップ (2) を取り付けます。

入警告

エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、本冊子の「メンテナンスプログラム」に記載されている定期点検表に従い、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

オイルレベルの正確な点検を実施するには、以下に記載する作業をよく読んで指示に従ってください。
1) オイルレベルの点検はエンジンを切ってから約15分後、エンジンが熱い状態で実施してください。
2) エンジンを停止し、オイルが完全にオイルパンに戻るまで10~15分待ちます。



3) 平坦な場所に両方の車輪を地面に着け、直立に駐車します。

4) この時点で、エンジンオイル点検窓からオイルレベルを点検します。

5) オイルレベルが MIN と MAX 目盛りの中央より下で あれば、MAX 目盛りまでオイルを補充してください。

▲ 警告

■ MAX 目盛りは絶対に超えないようにしてください。

オイルに関する推奨事項

以下を満たすオイルの仕様が推奨されます。

● 粘度分類 SAE 15W-50

● API 規格:SN

● JASO 規格:MA2。

SAE 15W-50 は英数字のコード番号で、粘度を基にオイルの分類を特定し、Wで分けられた2つの数字であらわされます。最初の数字は低温でのオイルの粘度を表し、二番目の数字は高温での粘度を表します。API (米国での分類) および JASO (日本標準) は、オイルが有する特徴を表します。

車両の清掃

塗装部分と金属部分の本来の艶を長期間保つため、使用状態や走行する道路の状態に合わせて、定期的に車両の清掃、洗車を行ってください。強力な洗剤や溶剤の使用は避け、可能であれば生分解性の専用洗剤を使用してください。

プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤を使用してください。

アルミニウム製部品は定期的に手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象になりません。

▲ 重要

▲ 注 ★ 注行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。 洗車には温水ジェットや高圧洗浄機を使用しないでく ださい。

洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装システム、フォークガスケット、エアインテーク、エキゾーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結露(くもり)を引き起こし、結果として車両の安全性を損ねるおそれがあります。

エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トランスミッション系統(チェーン、フロント/リアスプロケット等) に脱脂剤が付着しないように注意してください。

車両をぬるま湯で良くすすぎ、表面全体をセーム革で 拭いて乾かします。

警告

★記 洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあります。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるおそれがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。

|洗浄、雨、湿気などにより、ヘッドランプレン ズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露 はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABSシステムが効率よく作動するように、フォニック ホイールを入念に清掃してください。ホイールやセン サーを傷めますので、強力な洗剤や溶剤の使用は避け てください。

ホイールリムにはアルミニウム加工が施されています ので、清掃には十分に注意してください。車両を使用 するたびに、ホイールリムを清掃して乾燥させてくだ さい。

ェーンの潤滑」を参照してください。

インストルメントパネルのクリアカバーにオイ ルや燃料が直接付着しないようにしてください。シミ や損傷の原因となり情報を読み取りにくくなるおそれ があります。この部分の清掃にはアルコール系洗剤、 溶剤や研磨剤入りの洗剤を使用しないでください。表 面の硬いザラついたスポンジや布はキズが付くおそれ がありますので使用しないでください。

(ンストルメントパネルのクリアカバーは、や わらかい布を使用して水と中性洗剤、もしくはクリア プラスチック部品専用の洗剤で清掃してください。

▼ インストルメントパネルの清掃には、アルコー ルやアルコール由来の製品を使用しないでください。

長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお薦めします。

- 車両を清掃します。
- 燃料タンクを空にします。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。
- 接続を切り離し、バッテリーを取り外します。バッテリーメンテナーで定期的に充電します。
- 結露を防止し塗装を保護するため、車体はカバー で覆います。車体カバーは Ducati Performance にて取り扱っております。

重要注意事項

一部の国では騒音規制の基準が設けられている場合があります。

法律で義務付けられている定期点検を実施し、交換が必要な部品については各国の規制に適合する Ducati 純正パーツと交換してください。

車載されている様々な電子コンポーネントには、車両の状態、イベント、故障に関する技術情報を一時的または永続的に保存するデータメモリがあります。通常、これらの情報は、ひとつのコンポーネント、モジュール、システム、または環境の状態を記録しています。

- システムコンポーネントの動作状態(例:排出ガス 制御システム)
- 車両と個別コンポーネントの状態のメッセージ (例:車輪回転速度、エンジン回転数、挿入ギアなど)
- システムの重要コンポーネントの不具合と故障 (例:ライト、ブレーキなど)
- 特定の運転状況での車両レスポンス (例:トラクションコントロールシステムなど)
- 環境条件(例:気温など)

これらのデータは技術的な性質のものであり、故障を 特定・修正して、車両の機能を最適化するために使用 されます。 修理、メンテナンス作業、保証対象作業、品質保証などのサービスを実施する際、アシスタンスネットワーク(製造メーカーを含む)のスタッフは、特別な診断ツールを使用して、イベントや故障データメモリからこれらの技術情報を読み取ることができます。故障が解消されれば、故障メモリの情報を徐々に消去または上書きすることができます。

車両データは、お客様から要請されたサービスや契約 に基づいて車両に実施されるサービスの際に収集され ます。

これらのサービス環境において、お客様の個人情報は、サポートの効率を高めるという Ducati の正当な利益に基づき、また最終的な法的義務 (例:修理・メンテナンスに関する情報義務)を果たすために、現行の個人データ保護規則に従って取り扱われます。必要に応じて、個人データの読み取りが行われ、車両識別番号と併せて使用されます。

当社のコントロールユニットが位置情報データを収集することはありません。

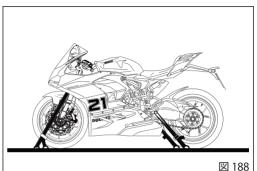
車両の運搬

別の車でモーターサイクルを運搬する前に、安全に関 する以下の指示に従ってください。

- 1) 確実に固定されていない物やアクセサリーを車両 から取り外してください。
- 2) 運搬に使用する車に対して真っすぐになるように 前輪を進行方向に向けて配置し、前輪が動かない ように適切に固定してください。
- 3) ギアを1速に入れてください。
- 4) 固定用ベルトを使用してください。固定用ベルト は硬い部品(フレームなど)の位置で固定するよう にし、ハンドルバー(またはハーフハンドルバー、 装備に応じる)や破損する危険のある部品(グリッ プ、リアビューミラーなど) には取り付けないで ください。
- 5) ベルトやロープが車両の塗装部品をこすらないよ うに取り付けてください。
- 6) 運搬中に路面からの振動に対する車両の動きが少 なくなるように、可能であれば、サスペンション を部分的に圧縮された位置に設定してください。



ロープをハンドルバーに固定しないでください。



メンテナンスプログラム

メンテナンスプログラム: ディーラーでおこなうメンテナンス

■ このメンテナンスプログラムは Panigale V2 の公道での使用を想定しています。サーキットで使用する場合、競技でなくても車両のすべてのシステムに多大な負荷がかかりますので、定期点検をより頻繁におこなう必要があります。

▲ 警告

Panigale V2 を競技で使用するためのパーソナルアドバイスをお受けになられたい場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	00 1	12	24	36	48	期間(月)
	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
DDS 2.0 による不具合メモリー読み取り、コントロールユニットのソフトウェアバージョン更新の確認		•	•	•	•	•	12
テクニカルアップデートおよびリコールの有無の確認		•	•	•	•	•	12
エンジンオイルおよびフィルターの交換		•	•	•	•	•	12
エンジンオイルインテークメッシュフィルターアセンブ リの交換				•		•	-
バルブクリアランスの点検と調整				•		•	-

メンテナンス項目/作業内容 (km/マイル 毎、または経過時間*)	Km x1000	1	12	24	36	48	期間(月)
	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	
スパークプラグの交換				•		•	-
エアフィルターの点検と清掃			•		•		-
エアフィルターの交換				•		•	-
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		•	•	•	•	•	12
ブレーキ/クラッチフルードの交換							24
ブレーキパッドの摩耗点検必要な場合は交換			•	•	•	•	12
フロント / リアブレーキキャリパースクリュー、フロントブレーキディスクスクリューの締め付け点検			•	•	•	•	12
リアブレーキディスクおよびフォニックフォイールのス クリュー締め付け点検				•		•	-
フロント、リアホイールナットの締め付け、リアスプロ ケットナットの締め付け点検			•	•	•	•	12
フロント、リアホイールハブベアリングの点検				•		•	-
リアスプロケットのダンパーの点検				•		•	-
リアホイールシャフトの点検と潤滑				•		•	-

メンテナンス項目/作業内容 Km x1000	1	12	24	36	48	#088 / C)
(km/マイル 毎、または経過時間*) マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	期間(月)
ファイナルドライブ (チェーン、フロントスプロケット、 リアスプロケット)、およびチェーンスライダーの磨耗点 検 ドライブチェーンの伸びの点検。測定値:		•	•	•	•	12
ドライブチェーン張力の点検と潤滑	•	•	•	•	•	12
セカンダリーエアリードバルブの点検、必要であれば交 換			•		•	-
ステアリングチューブベアリングの遊び点検			•		•	24
フロントフォークオイルの交換						36
フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検	•	•	•	•	•	12
フレーム-エンジン、スイングアームの締め付け点検		•	•	•	•	-
サイドスタンドの作動、締め付け点検	•	•	•	•	•	12
目視できるすべてのカバーやフレキシブルホース (燃料供給、ブレーキ、クラッチ、冷却システムのフレキシブルホース、ブリーザーホース、ドレンホースなど) に亀裂や漏れなどがなく、正しく取り回されていることを点検する	•	•	•	•	•	12
クーラントレベルの目視点検	•	•	•	•	•	12

メンテナンス項目/作業内容	Km x1000	1	12	24	36	48	#088 / C)
(km/マイル 毎、または経過時間*)	マイル x1000	0.6	7.5	15	22.5	30	期間(月)
クーラントの交換						•	48
タイヤ空気圧、磨耗点検		•	•	•	•	•	12
バッテリー充電レベルの点検		•	•	•	•	•	12
電気安全装置の作動点検(サンドスタンドとサー、フロント/リアブレーキスイッチ、コイッチ、ギア/ニュートラルセンサー)		•	•	•	•	•	12
ランプ類、ターンインジケーター、警告ホ- 類の動作点検	-ン、コマンド	•	•	•	•	•	12
DDS 2.0 を介したサービスインジケーター	-のリセット	•	•	•	•	•	12
安全装置(ABS、DTCなど)、アイドリングの ねた最終点検および路上での走行テスト	D機能点検を兼	•	•	•	•	•	12
エレクトリックファンの起動/停止点検、干渉の有無の確 認							
車両のソフトクリーニング		•	•	•	•	•	12
定期点検実施の車載書類 (サービスブック)への記入	•	•	•	•	•	12

^{*}走行距離 (km、mi) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

メンテナンスプログラム: お客様がおこなうメンテナンス

▲ 重要

▲ ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

	Km x1000	1
メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *)	マイル x1000	0.6
	月	6
エンジンオイルレベルの点検		•
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		•
タイヤ空気圧、磨耗点検		•
チェーン張力の点検と潤滑		•
ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。		•

^{*}走行距離 (km、mi) または経過時間 (月) のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

テクニカル仕様

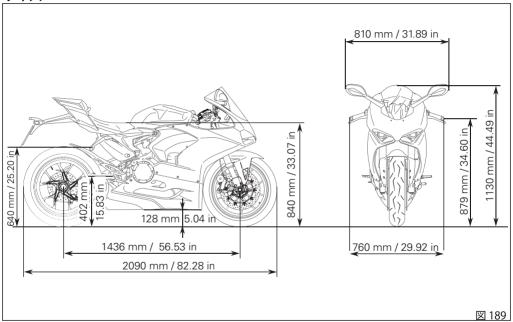
重量

車両重量 (燃料 90% を含むすべての液体類を装備 - 93/93/CE ガイドライン に準拠)	200 kg (440.92 lb)
車両重量 (液体類、バッテリーを含まない)	176 kg (388 lb)
車両総重量 (最大負荷)	400 kg (881.85 lb)



警告 重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

サイズ



補給

補給	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 5 リットル (1.10 UK ガロン) を含む	オクタン価が 95 以上の無鉛ガソリン SHELL V-Power を使用してください。	. 17 リットル (3.74 UK ガロン)
エンジンクランクケースおよびフィルター	ドゥカティ社規定オイルは SAE 15W-50/ JASO MA2 のみで、推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 (JASO: MA2、 API:SN) です。	3.8 リットル (0.84 UK ガロン)
フロント/リアブレーキシステム、クラッチ	DOT 4	-
電極保護液	電気系統の保護スプレー	-
フロントフォーク	SHELL Donax TA	92 mm (3.62 in)
冷却システム	不凍液 ENI Agip Permanent Spezial (薄めずに使用)	`2.3 リットル (0.50 UK ガロン)

▲ 重要

▲ 警告 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエン ジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が10%以上のガソリンを使用した 場合は保証の対象外になります。

エンジン

4ストローク 90°"L"型 2 気筒、低タンクダイキャストクランクケース

ボア: 100 mm (3.94 in)

ストローク: 60.8 mm (2.39 in)

総排気量: 955 cm³ (58.28 cu in)

圧縮比: 12.5:1 ± 0.5

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014

添付 X、kW /HP:

113.7 kW/155 HP / 10750 rpm

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014、 添付 X、kW/HP、ベルギーバージョンのみ:

83 kW/113 HP / 8750 rpm

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014、 添付 X、kW/HP、ロシアバージョンのみ:

110 kW/150 HP / 8750 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014

添付 X:

104 Nm / 10.6 Kgm / 9000 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014、添付 X、ベルギーバージョンのみ:

94 Nm / 9.5 Kgm / 8250 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制 (EU) No. 134/2014、添付 X、ロシアバージョンのみ: 103 Nm / 10.5 Kgm / 9000 rpm

最高回転数、rpm: 11,500

▲ 重要

▲ 走行中いかなる状況においても、決して最高回転数を超えてはいけません。

②参考

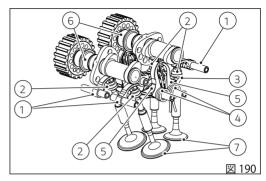
記載されている出力/トルクデータは、基準適合規則に従って静的テストベンチを使用して測定されたもので、認証時に測定され車両登録証に記載されているデータと同じになります。

タイミングシステム

チェーンおよびスプロケット駆動ダブルオーバーヘッドカムシャフト、シリンダーごとに4バルブ、デスモドロミックシステム

デスモドロミックタイミングシステム

- 1) オープニング (アッパー) ロッカーアーム
- 2) オープニングロッカーシム
- 3) クロージング (ロア) ロッカーシム
- 4) ロッカーアームリターンスプリング
- 5) クロージング (ロア) ロッカーアーム
- 6) カムシャフト
- 7) バルブ



性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を 正しく守り、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ 出すことができるようになります。

これらの条件が守られなかった結果としてのエ ンジンの指傷や寿命の短縮について、Ducatiモーター ホールディング社は一切責任を負うものではありませ his

スパークプラグ

メーカー: NGK タイプ: MAR9A-J

燃料供給

誘導放電型間接噴射タイプ電子制御式インジェクショ ンシステム

楕円スロットルボディ(相当径): 62 mm (2.44 in)_o

シリンダーごとのインジェクター数:2

インジェクター孔数:12 ガソリン燃料:95-98 RON

この車両にはエタノール含量が10%以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用するこ とは禁じられています。こうした燃料を使用するとエ ンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあり ます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用 した場合は保証の対象外になります。

ブレーキ

各ブレーキのアンチロックシステムは、両タイヤに装 備されたホール効果センサーで制御されます。ABSの 解除が可能です。

フロント

穴付きセミフローティングダブルディスク ブレーキシュー材質:ステンレススチール

ハウジング材質:アルミニウム ディスク径: 320 mm (12.60 in)。

ディスクブレーキ面積: 219 cm² (33.94 in²)

ブレーキディスク厚: 4.5 mm (0.18 in)。 ディスクの摩耗限界: 4.0 mm (0.16 in)。

右側ハンドルレバーによる油圧コントロール ブレーキキャリパーメーカー:BREMBO

タイプ: Stylema® M4.32 モノブロックラジアルマウン

ト (コーナリング ABS EVO)

キャリパーのピストン数:4 ブレーキパッド材質:BRM11E HH ブレーキレバーポンプシリンダー径:18 mm (0.71 in)。

リア

穴あき固定ディスク、スチール製ディスク径: 245 mm (9.6 in)。ディスク径: 245 mm (9.6 in)。ディスクブレーキ面積: 190 cm² (29.45 in²)ブレーキディスク厚: 5 mm (0.2 in)。ディスクの摩耗限界: 4.5 mm (0.18 in)。車体右側ペダルによる油圧コントロールキャリパーメーカー: BREMBOキャリパーのピストン数: 2キャリパーピストン径: 34 mm (1.73 in)。Bosch コーナリング ABS EVO 標準装備。ブレーキパッド材質: Ferodo Ferit I/D 450 FFポンプタイプ: PS 13 ポンプ径: 13 mm (0.51 in)。

入警告

⚠ ブレーキフルードは腐食性があります。

万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

トランスミッション

湿式多板、油圧式制御、左ハンドルレバーによる操作、セルフサーボ機構およびスリッパークラッチ機構付き。

エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝 達。

一次減速比: 1.80:1

エンジンスプロケット/クラッチスプロケット比: 30/53

6 速ギア、ドゥカティクイックシフト (DQS) UP/ DOWN EVO2、車体左側ペダルによる操作

ギアスプロケット/リアスプロケット比: 15/43 ギアスプロケット/リアスプロケット比(台湾バージョンのみ)15/41

変速比:

1速15/37

2速 16/30

3速18/27

4速20/25

5速22/24

6速24/23

チェーンによるギアボックスとリアホイール間の駆動 伝達

メーカー、モデル:REGINA 520 ZRDK

リンク数:106

▲ 重要

▲ 上記のギア比は認可時の値ですので、いかなる ことがあっても変更してはいけません。

この車両を競技用に仕様変更を望まれるお客様に、 Ducati モーターホールディング社から特別なギア比に 関する情報を提供することが可能です。 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせくだ さい。

入警告

■ リアスプロケットの交換は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

この部品の誤った交換は、ライダーおよびパッセンジャーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

フレーム

アルミニウム合金キャスト製モノコックフレーム キャスター角:24°

ステアリングアングル:左側 24°/右側 24° トレール:94 mm (3.7 in)。

ホイール

フロント

5 本スポーク軽合金鋳造リム 寸法: MT3 50x17"

リア

5 本スポーク軽合金鋳造リム 寸法: MT5.50x17"

タイヤ

タイヤの種類

フロント

チューブレスラジアルタイヤ Pirelli Diablo Rosso Corsa II

寸法:120/70 ZR17 M/C (58W) リア

チューブレスラジアルタイヤ Pirelli Diablo Rosso Corsa II

寸法:180/60 ZR17 M/C (75W)

タイヤ空気圧

用途	フロント	リア
公道 (ライダーの	2.5 bar (36.26	2.5 bar (36.26
み):	psi)	psi)

公道 (ライダーと	2.5 bar (36.26	2.7 bar (39.16
パッセンジャー)	psi)	psi)
サーキット (ライ	2.3 bar (33.36	2.1 bar (30.45
ダーのみ):	psi)	psi)

| 警告

タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してください。フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2~0.3 bar (2.90~4.35 PSI) 上げてください。

サスペンション

フロントフォーク

SHOWA 製 BPF クロムメッキスチール倒立フォーク、フルアジャスタブル インナーチューブ径: 43 mm (1.7 in)。 ホイールトラベル: 120 mm (4.7 in)。

リアショックアブソーバー

SACHS 製モノショックアブソーバー、リバウンド/コンプレッションダンピングのフルアジャスタブル。 片持ち式スイングアーム。 ホイールトラベル: 130 mm (5.1 in)。

ショックアブソーバーストローク:65 mm (2.5 in)。

ステアリングダンパー

SACHS 製ステアリングダンパー、調節不可。

エキゾーストシステム

「2 in 1」レイアウト ラムダセンサー 2 個、触媒コンバーター 2 個

カラーバリエーション

ドゥカティレッド

- ベース(プライマー): アクリフレックスホワイト、 部品番号: L0040652
- エナメル(ニス): アクリプラスト レッドストーン SF、部品番号: LMC06017
- リムカラー:ブラック

ホワイトシルク

a. ロアフェアリング、ヘッドライトフェアリング、テールガード、リアサイドパネル、タンク:

- ベース: プライマー ホワイト Palinal 873AC001
- ベース:スターホワイト Palinal 928.T948
- マットクリアー: クリア 2K マット Palinal 92312105 b

b. アッパーフェアリングおよびプーラー:

ベース:プライマーレッド Lechler LDS20067

- ベース:ドゥカティレッド PPG 473.101
- グロッシークリアー: Lechler 96230
- ベース: プライマー ホワイト Palinal 873AC001
- ベース: スターホワイト Palinal 928.T948
- マットクリアー: クリア 2K マット Palinal 92312105

エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです。

カラー TFT ディスプレイを装備したインストルメント パネル

ヘッドライトタイプ:

ロービーム: LED 1 個 + LED 2 個

ハイビーム:LED 1個

パーキングライト / DRL (装備している場合): LED 4

個

LED フロントターンインジケーター: LED 15 個 リアターンインジケーター(ヨーロッパバージョン):

LED 1 個 リアターンインジケーター電球 (USA バージョン) タイ

プ: RY10W (12V-10W) オレンジ色:

テールライト: LED 18個

LEDストップランプ LED 18個

ナンバープレートライト:LED 3個

警告ホーン

ストップランプスイッチ

電解液を含む密閉型バッテリー:

YUASA YT 7B-BS (12V - 6.5Ah)

ジェネレーター:

14V - 510W_o

電子レギュレーターは、バッテリー横のスターターコンタクター上に設けられた30Aヒューズで保護されています。

スターターモーター: Denso 12V - 0.6 kW

○参考

■ 電球の交換は、"ハイ/ロービーム電球の交換"を 参照してください。

ヒューズ

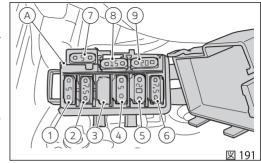
電装品の保護装置はフロントヒューズボックス内にヒューズがあり、スターターコンタクター上にヒューズが1個あります。各ヒューズボックス内には予備ヒューズが1個あります。

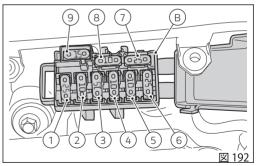
ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を 参照してください。

左フロントヒューズボックス (A) および右フロントヒューズボックス (B) は、バッテリー上に配置されています。

ヒューズで作業するには、左フェアリングを取り外します。

ヒューズを交換するには、各ヒューズの配置と定格が 表記された保護カバーを外します。





左フロ	左フロントヒューズボックス凡例 (A)		
配置	保護装置	容量	
1	EMS / ABS / IMU	5 A	
2	DASH / BBS / SMEC	7.5 A	
3	-	-	
4	アクセサリー (SW)	5 A	
5	インジェクションリレ	20 A	
	_		
6	診断 / 充電	7.5 A	
7	スペア	5 A	
8	スペア	15 A	
9	スペア	20 A	

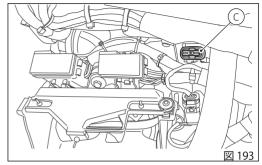
9	スペア	20 A
右フロ	コントヒューズボックス	ス凡例 (B)
配置	保護装置	容量
1	ABS 1	25 A
2	ABS 2	10 A
3	インストルメントパネ	15 A
	ルル	

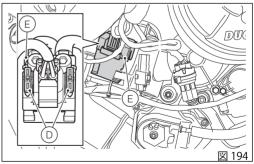
右フロントヒューズボックス凡 例 (B)		
4	Black Box システム (BBS)	10 A
5	燃料ポンプリレー	10 A
6	EMS 負荷リレー	25 A
7	スペア	15 A
8	スペア	10A
9	スペア	25 A

スターターのメインヒューズで作業を行うには、左フェアリングを取り外します。

スターターのメインヒューズ 30A (C) はヒューズボックス右側のバッテリー近くにあります。このヒューズで作業するには、保護キャップを取り外してください。

予備ヒューズ 30A (D) はスターターコンタクター(E) 上に設けられています。このヒューズで作業するには、保護キャップを取り外してください。





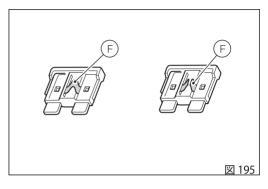
切れたヒューズは、インナーフィラメント (F) が溶断しているかどうかで確認することができます。

人 重要

M 回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。

人警告

基 表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないでください。上記事項を守らなかった場合、エレクトリカルシステムの損傷や火災を引き起こすおそれがあります。



オープンソースソフトウェア

オープンソースソフトウェアに関する情報

車両のいくつかのコンポーネントは、オープンソース ソフトウェアを使用しています。使用されているソー スコードとオープンソースに関連する情報は、次のリ ンクからオンラインで入手できます。

https://www.ducati.com/ww/en/home/open-source-software

EU 適合宣言書

EU 適合宣言書

EU 指令 2014/53/EU



無線部品製造業者の住所

すべての無線部品には、欧州指令 2014/53/EU の規定に基づき、製造業者の住所が記載されていなければなりません。その性質または寸法の問題上シールを貼付できない部品については、法律に規定される通り製造業者の住所を表示 2 に記載します。



|参考

本機器の取扱い、設置は経験のある人のみが行ってください。

表1

車両に装備さ れている無線 機器	周波数帯域	最大送信電力
Elock	129.6 KHz ÷ 135 KHz	< 66dB μ A/m (10m)
Ducati Multimedia System (Bluetooth)	2402 ÷ 2480 MHz	4.4mW
Antitheft	433.92MHz (±75KHz)	<0.6mA
GPS	1575,4 MHz	

表2

車両に装備されている無 線機器	製造業者の住所
Elock	ZADI S.p.a. Via Carlo Marx, 138 41012 Carpi (MO), Italy
Ducati Multimedia System (Bluetooth)	COBO S.p.a. Via Tito Speri, 10 25024 Leno (BS), Italy
Antitheft (盗難防止装置)	PATROLLINE Via Cesare Cantù, 15/C 22031 Albavilla (CO), Italy
GPS	DANFOSS A/S 6430 Nordborg Denmark CVR nr.: 20 16 57 15

簡易 EU 適合宣言書

[Austria]

Ihr Fahrzeug ist mit einer Reihe von Funkgeräten ausgestattet. Die Hersteller dieser Funkgeräte erklären, dass diese, wo gesetzlich vorgeschrieben, mit der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmen. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter folgender Adresse verfügbar: certifications.ducati.com

[Belgium]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Bulgaria]

Твоят мотоциклет е оборудван с различна по вид радиоапаратура. Производителите на тази радиоапаратура декларират, че тя съответства на Директива 2014/53/ЕС, съгласно изискванията по закон. Пълният текст на декларацията за съответствие ЕС, ще намерите на следния адрес: certifications.ducati.com

[Cyprus]

Το όχη μά σας εξοπλίζεται με μια σειρά από ραδιοσυσκευές. Οι κατασκευαστές των συσκευών αυτών δηλώνουν ότι οι συσκευές συμμορφώνονται με την οδηγία 2014/53/ΕΕ, όπου απαιτείται από το νόμο. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση: certifications.ducati.com

[Czech Republic]

Vaše vozidlo je vybaveno řadou rádiových zařízení. Výrobci těchto radio zařízení, prohlašují, že zařízení jsou v souladu se směrnicí 2014/53/EU, pokud to vyžaduje zákon. Úplné znění prohlášení o shodě EU je k dispozici na internetových stránkách: certifications.ducati.com

[Germany]

Ihr Fahrzeug ist mit einer Reihe von Funkgeräten ausgestattet. Die Hersteller dieser Funkgeräte erklären, dass diese, wo gesetzlich vorgeschrieben, mit der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmen. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter folgender Adresse verfügbar: certifications.ducati.com

[Denmark]

Dit køretøj er udstyret med et udvalg af radioudstyr. Producenterne af dette radioudstyr erklærer, at dette udstyr overholder direktiv 2014/53/EU, hvis det kræves i henhold til loven. Den komplette tekst af EU-overensstemmelseserklæringen findes på følgende webadresse: certifications.ducati.com

[Estonia]

Teie sõiduk on varustatud raadioseadmete seeriaga. Selle raadioseadme tootjad kinnitavad, et see seade vastab direktiivile 2014/53/EÜ, kui seadus seda nõuab. EÜ vastavusdeklaratsiooni terviktekst on saadaval järgmisel veebisaidil: certifications.ducati.com

[Spain]

Su vehículo está equipado con una serie de equipos de radio. Los fabricantes de dichos equipos de radio declaran su conformidad con la directiva 2014/53/UE, como requiere la ley. El texto completo de la declaración de conformidad UE está disponible en el siguiente sitio: certifications.ducati.com

[Finland]

Ajoneuvossasi on radiolaitteita. Näiden radiolaitteiden valmistajat vakuuttavat, että laitteet vastaavat direktiiviä 2014/53/EU lain edellyttämällä tavalla. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täydellinen teksti on saatavilla seuraavasta osoitteesta: certifications.ducati.com

[France]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[United Kingdom]

Your vehicle is equipped with a range of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that these equipment complies with Directive 2014/53/EU where required by law. The complete text of the EU declaration of conformity is available at the following web address: certifications.ducati.com

[Greece]

Το όχη μά σας εξοπλίζεται με μια σειρά από ραδιοσυσκευές. Οι κατασκευαστές των συσκευών αυτών δηλώνουν ότι οι συσκευές συμμορφώνονται με την οδηγία 2014/53/ΕΕ, όπου απαιτείται από το νόμο. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση: certifications duraticom

[Croatia]

Vaše vozilo je opremljeno nizom radio uređaja. Proizvođači ovih radio uređaja tvrde da su uređaji u skladu s Direktivom 2014/53/UE ako je propisano zakonom. Cjelokupan tekst deklaracije o sukladnosti dostupan je na: certifications.ducati.com

[Hungary]

Járműved egy sor rádió készülékkel van felszerelve. Ezeknek a rádióberendezéseknek a gyártói kijelentik, hogy a készülékek megfelelnek a 2014/53/EU irányelvnek, ahol ezt a törvény megköveteli. Az EU megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege az alábbi címen érhető el: certifications.ducati.com

[Ireland]

Your vehicle is equipped with a range of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that these equipment complies with Directive 2014/53/EU where required by law. The complete text of the EU declaration of conformity is available at the following web address: certifications.ducati.com

[Italy]

Il tuo veicolo è dotato di una serie di apparecchiature radio. I costruttori di queste apparecchiature radio dichiarano che esse sono conformi alla direttiva 2014/53/UE laddove richiesto per legge. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo: certifications.ducati.com

[Lithuania]

Jūsų transporto priemonėje įdiegta daug įvairios radijo įrangos. Šios radijo įrangos gamintojai patvirtina, kad ji atitinka 2014/53/ES direktyvos reikalavimus, kaip tai numato galiojantys įstatymai. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pateikiamas svetainėje adresu certifications.ducati.com

[Luxembourg]

Votre véhicule est équipé d'une série d'appareillages radio. Les constructeurs de ces appareillages radio déclarent que ces derniers sont conformes à la directive 2014/53/UE lorsque la loi le requiert. Le texte complet de la déclaration de conformité UE est disponible à l'adresse suivante : certifications.ducati.com

[Latvia]

Jūsu transportlīdzeklis ir aprīkots ar dažādām radioierīcēm. Šo radioierīču ražotājs apliecina, ka ierīces atbilst Direktīvas 2014/53/ES prasībām, ja to paredz attiecīgie tiesību akti. Pilnīgo ES atbilstības deklarāciju skatiet šajā tīmekļa vietnē: certifications.ducati.com

[Malta]

Il-vettura tiegħek hija mgħammra b'firxa ta' tagħmir tar-radju. Il-manufatturi ta' dan it-tagħmir tar-radju jiddikjaraw li dan it-tagħmir jikkonforma mad-Direttiva 2014/53/UE fejn meħtieġ mil-liġi. It-test kollu taddikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli fuq l-indirizz tal-web: certifications.ducati.com

[Netherlands]

Uw voertuig is voorzien van diverse draadloze apparatuur. De fabrikanten van deze draadloze apparatuur verklaren dat deze, daar waar dit door de wet voorschreven wordt, overeenstemmen met de richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-verklaring van overeenstemming is beschikbaar op het volgende webadres: certifications.ducati.com

[Poland]

Państwa pojazd został wyposażony w szereg urządzeń radiowych. Producenci tych urządzeń radiowych oświadczają, że są one zgodne z dyrektywą 2014/53/UE, tam, gdzie wymaga tego prawo. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: certifications.ducati.com

[Portugal]

O seu veículo é dotado de uma série de equipamentos de rádio. Os construtores desses equipamentos de rádio declaram que os mesmos estão em conformidade com a diretiva 2014/53/UE sempre que a lei o determinar. O texto completo da declaração de conformidade UE está disponível no seguinte endereço: certifications.ducati.com

[Romania]

Vehiculul dvs. este dotat cu o serie de aparate radio. Producătorii acestor aparate radio declară că acestea sunt conforme cu directiva 2014/53/UE, dacă legea impune acest lucru. Textul complet al declarației de conformitate UE este disponibil la următoarea adresă: certifications.ducati.com

[Sweden]

Ditt fordon är utrustat med radioutrustning. Radioutrustningens tillverkare förklarar att denna utrustning uppfyller direktiv 2014/53/EU där så lagen kräver det. Fullständig text om EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande adress: certifications.ducati.com

[Slovenia]

Vaše vozilo ima tudi vrsto radijske opreme. Proizvajalci eteh radijskih naprav izjavljajo, da so ti v skladu z uredbo 2014/53/UE, kjer zakon to predvideva. Celotno besedilo izjave o skladnosti EU je na voljo na spodnjem naslovu: certifications.ducati.com

[Slovakia]

Vaše vozidlo je vybavené rádiofónnymi zariadeniami. Výrobcovia týchto rádiofónnych zariadení prehlasujú, že tieto zariadenia sú v zhode so smernicou 2014/53/EÚ v rozsahu predpísanom zákonom. Úplný text ES prehlásenia o zhode je k dispozícii na nasledujúcej adrese: certifications.ducati.com

United States (USA)

"This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation."

"Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment." "NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment gene rates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interfere nee to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help."
- RF exposure Information according 2.1091/2.1093 / OET bulletin 65:

Radiofrequency radiation exposure Information: This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

The manufacturers of these radio equipment declare that devices comply with the FCC

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)	FCC ID: Z64-2564N
E-Lock System	FCC ID: VFZKLGMZADI03

Canada

This device contains licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

RF Exposure Information:

This equipment complies with Canada radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 20 cm between the radiator and your body.

Déclaration d'exposition aux radiations: Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)	IC: 4511-2564N
E-Lock System	IC: 22239-ELKMZADI03

DUCATI MULTIMEDIA SYSTEM (Bluetooth)

Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br .



07755-17-10873

Japan

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。 This equipment contains specified radio equipment that has been certified to the technical regulation conformity certification under the Radio Law.

本無線機器の改造を禁ずる(これに反した場合は当該認証登録番号は無効となる) This radio device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid)

South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다



R-R-Cbo-1080795

E-LOCK SYSTEM

South Korea

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다



R-R-ZAD-EL034001





Ducati Motor Holding spa

Via Cavalieri Ducati, 3 40132 Bologna, Italy Ph. +39 051 6413111 Fax +39 051 406580 A Sole Shareholder Company A Company subject to the Management and Coordination activities of AUDI AG